

2018年 第47号
 とことん面倒見のよい学校
 中央カレッジグループ

学園新聞

学校法人有坂中央学園
 中央農業大学校
 中央情報経理専門学校
 中央工科デザイン専門学校
 中央医療歯科専門学校
 群馬法科ビジネス専門学校
 中央高等専修学校
 学校法人中央総合学園
 中央情報大学
 高崎ビューティモード専門学校
 中央動物看護専門学校
 中央医療歯科専門学校
 高崎CRI中央外語学院
 資格の学校 TAC群馬校
 イングリッシュビレッジMAEBASHI

中央カレッジグループ学園新聞編集委員会 <http://www.chuo.ac.jp>
 〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1 TEL.027-253-1105(代) FAX.027-253-1124

『留学生の採用』で企業説明会

120社・160人が参加

グローバル人材の育成を目指す中央カレッジグループは、専門学校で学ぶ留学生の就労支援に力を入れています。その第1弾として県内各企業に呼びかけた「外国人留学生のための採用計画説明会」を7月26日と9月4日に開催。人材確保に関心の高い企業・団体などから延べ120社・160人が参加し、群馬県の国際戦略方針や内定から就労ビザ取得の流れ、留学生採用企業の事例など具体的に説明を受けました。



多くの企業関係者が参加した「外国人留学生のための採用計画説明会」

留学生の内定率84.6%に

中央カレッジグループの専門学校を今春卒業した留学生の就職内定率は84.6%、就労ビザ取得率は61.5%でした(2016年度の専門学校就労ビザ取得率は全国平均28%)。

高い内定率は、留学生たちの努力と教職員の指導・支援とともに、企業側の採用意欲の強さを象徴しています。

主な内定先の内訳は、専門知識や語学力を生かした職種が目立っています。

説明会参加企業の内訳は、製造、建設・設備、ホテル・旅館、物流・運輸、農業など労働力不足が深刻な業種が目立ちました。参加後の声は「リアルな情報が得られた」「日本語の能力はどれくらいあるのか知りたい」「前向きに検討したい」「まずはアルバイトから考えたい」など積極的で好評なものでした。

留学生採用などの問い合わせは中央カレッジグループ留学生就労支援センター(☎027-254-3207)まで。

内定・就労の手順紹介

県の「国際戦略」講演も

「外国人留学生のための採用計画説明会」は、学園グループ就職指導センター内に設置している留学生就労支援センターが事務局となり実施。県内各企業に留学生の採用にあたっての留意ポイントなどを説明するものです。

両日とも群馬県企画部国際戦略課交流推進係の担当者による講演「群馬県

の国際戦略と留学生に期待すること」が行われました。次いで、留学生就労支援センターの山内弘夫事務局長が「内定から就労ビザの取得について」と題して、採用への具体的流れや手続きを説明。企業にとって必要な書類や確認事項、注意点などを分かりやすく伝えました。

さらに、実際の採用事例を7月26日に2社、9月4日に1社が発表しまし



中央カレッジグループ専門学校の学園祭「かわせみ祭」が、9月中旬から10月にかけて高崎、前橋、太田の3会場で行われました。台風接近や降雨など厳しい条件の中、延べ2800人が来場、楽しんでいただきました。

高崎地区の3専門学校(高崎ビューティモード、中央情報大学校、中央医療歯科高崎校)の中央総合学園祭は、9月15・16日に開催されました。

初日の開会式行事は降雨のため中止されましたが、体験イベントや模擬店企画は予定通り行われ、2日間の来場者は合計で1217人でした。会場では、群馬テレビの番組ロケも行われました。

前橋地区の4専門学校(中央情報経理、中央工科デザイン、群馬法科ビジネス、中央動物看護)の合同学園祭は、9月29・30日に開かれました。

54回の歴史を持つ学園祭は、模擬店販売や各種展示、ミスコンや「お笑いライブ」など多彩な内容。台風接近のため最終日は開催時間を短縮し実施



しましたが、学生たちは最後まで元気に取り組みました。2日間の来場者は1360人でした。

両会場ともグループ校の中央農業大学校による野菜販売も行われました。

10月21日には太田市にある中央医療歯科専門学校太田校で学園祭が開かれました。会場では歯科の専門学校らしいイベントや発表展示が行われたほか、模擬店も並びました。一日だけの開催でしたが、保護者や恩師、卒業生や高校生ら220人が来場しました。

学園祭 3会場で 2800人が来場

「だんべえ踊り」370人燃えた!

伝統の地域貢献活動



若さと熱気あふれる踊りを市民に披露した学園「だんべえ」チーム

中央カレッジグループが、平成14年の学園創立60周年以来取り組んできた地域貢献活動、前橋まつり恒例の「だんべえ踊り」への参加が今年も行われ、祭りを盛り上げました。

本学園「だんべえ」チームは、中央情報経理、中央工科デザイン、群馬法科ビジネス、中央農業大学校の4専門学校から学生・教職員合わせて370人規模で編成。10月6日午後5時から前橋市内の立川町通りの特設コースで、「盛り上げ隊」の先導で熱気あふれる踊りを披露、沿道につめかけた多くの市民から声援と拍手が送られました。

群馬イノベーションアワード2018

武さん(中央農業)が最終審査に

起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード2018」(上毛新聞社主催、田中仁財団共催)の2次審査が10月28日に行われ、3部門47組から12月1日の最終審査に進出する15組が選ばれました。この中に中央農業大学校農業経営学科2年、武彩伽さんの「アグリウム=アグリカルチャー×アクアリウム」が選ばれました。同校から最終審査に進むのは2年連続2回目です。(関連11P)



発表する武さん

学校法人 有坂中央学園

CIA 中央情報経理専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

簿記検定で好成績

高度会計学科

高度会計学科の学生たちが日本商工会議所や全国経理教育協会の簿記検定で優秀な成績を収めました。

日商1級に 新井さん合格

第149回日本商工会議所主催簿記検定1級試験(6月10日実施)で、本校高度会計学科経理専攻(税理士)コース2年の新井開人さん=桐生商業高校出身=が合格しました。

9月13日には前橋商工会議所で曾我孝之会頭から合格証書を授与され、「社会での活躍を期待します」と激励の言葉をいただきました。

【新井さんコメント】 税理士目指し、努力したい

会頭より合格証書を受け取り、自身の目標の1つである簿記1級をこの手に収めることができた喜びと達成感を味わいました。私の最終目標である税理士試験の受験資格を得ることができ、初めてスタートラインに立つことができました。今回の経験を踏まえ、税理士試験の簿記論をはじめとする各科目取得に向け、より一層の努力を重ね、結果を出せるよう精進していきたいと考えています。

日商1級



曾我会頭(中央)から日商簿記1級合格証書を受けた新井さん(左から2人目)

全経上級



全経簿記上級に合格した中野さん、新井さん、山田さん(左から)

全経上級に3人合格 就職も早期内定

第181回全国経理教育協会主催簿記能力検定試験「上級」(7月8日実施)で、高度会計学科経理専攻(税理士)コース2年生が3人合格しました。

合格した3人は就職も早期に内定、取得した資格を生かし、職場で活躍することが期待されています。

【全経簿記上級合格者】

新井開人=高度会計学科経理専攻(税理士)コース2年、桐生商業高校出身(内定先:永田会計事務所)
中野 匠=同学科経理専攻(税理士)コース2年、伊勢崎商業高校出身(内定先:株式会社 浅野)
山田 遥=同学科経理専攻(税理士)コース2年、桐生商業高校出身(内定先:株式会社 東和銀行)

長い歴史を誇る本校の卒業生は各地・各職場で活躍しています。今号では、先生たちが卒業生の就職先に出向き、職場の様子などを取材しました。社会で活躍する卒業生の姿も見ることができました。

職場訪問 活躍する卒業生たち

お客様第一に業務を 青木運輸倉庫株式会社

(本社・富岡市)

インタビュー・青木靖次社長
卒業生:青木拓也総務課長(平成22年度卒)



青木社長(左)と卒業生青木拓也総務課長

半世紀の歴史を持ち、全国に7つの拠点を持つ同社の青木社長にインタビューしました。「創業時から現在に至るまで、お客様を中心に考え、期待に応えることを念頭に安全第一に業務にあたってきた。業界として『ただ荷物を運ぶ』というイメージを一新したいと考えている。現在では、在庫管理を含めた物流業として存在感を各方面にアピールしている」と語っていました。

青木拓也総務課長は、卒業して7年が経過した。本校で学んだことを実社会において生かしており、母校の学生を採用したいと考え、学園主催の合同企業ガイダンスにも参加しています。

後輩の学生に対して、「上司とのコミュニケーションを取れること、お客様に対して提案する力を学生時代に養ってもらいたい」とコメントを寄せてくれました。

同社には昨年入社した卒業生も桐生営業所で活躍しています。

業界は一大変革期に GNホールディングス株式会社

(本社・前橋市)

自動車販売会社などを傘下に持つGNホールディングス株式会社。本校卒業生も働いています。同社の歴史や現状について、総務次長の今井伸和氏にお聞きしました。

「当社は1925年に創業し、フォード車の販売からスタート。その後、日産自動車、大型トラック、アウディ、自動車部品販売にまで業務を拡大してきました。創業当時から『チャレンジ』することを怠らず業務を遂行し、スローガンとして『変わらないことへの変わる挑戦』を掲げ、常に新たな事業へ挑戦し現状維持を図っています」と語られました。

時代のニーズに対応 ホテル木暮(株式会社木暮旅館)

(渋川市伊香保)

伊香保の老舗旅館として知られるホテル木暮。施設の特色や人材確保について総務課の高橋秀樹さんにインタビューしました。

「創業以来、お客様の要望に合わせてサービスと設備の充実を図ってきました。時代のニーズに答えることがホテル木暮のポリシーです。北関東一の大きさの湯殿が当方の売りであり、お客様の大半が東京・埼玉を中心とした関東近郊です」と、ホテル木暮につい



同社で活躍する卒業生の星野悠希さん
II 情報経理学科経営管理コース出身

ました。自動車業界の現状については「百年に一度の大きな変革期です。具体的には、ガソリンエンジンから電気や水素といった化石燃料依存からの脱却を各企業が図っています」と強調。また、新たな試みについて、「『まいにちほいくえん』事業を開始しました。最初は社員の子どもの預かることからスター



インタビューに協力していただいた総務の方々。中央が次長の今井伸和さん

トしましたが、他企業の賛同を得てその輪が広がっています」と説明してくれました。

業界を目指す学生に求める能力としては、「明るく、笑顔で、元よく対応できることが一番重要」とコメントしてくれました。

同社では現在、本校卒業生が、経理部門・システム部門・営業部門で活躍しています。今後も、インターンシップや学生に対する講話などを通じ、本校の学生を積極的に採用していきたいとの意向でした。



ホテル木暮で働く卒業生と担任だった柳田先生。左から高橋謙太さん(安中総合高校出身)、高橋宏気さん(嬭恋高校出身)、長谷川潤さん(利根商業高校出身)



ホテル木暮の高橋さん

て説明をいただきました。

これからの人材に期待し、求めることについては、「古いことにとらわれず新しいことを提案でき、自分の意見を言える人材が好ましいですね」と高橋さん。

現在、ホテル木暮には、本校の情報経理学科卒業生が3人、お世話になっており、各部署で中核を担っているという。「皆さんの学校の卒業生を是非

とも採用したい」と、強く求められました。そのために、インターンシップや学生への講話も積極的に取り組んでもらえるとの話も出ていました。

インタビュー終了後、2011年の情報経理学科卒業生3人と写真を撮ることができました。高橋さんのご厚意でロビーに展示してある昭和天皇・皇后陛下が使用されたソファでの撮影ができました。

医療事務管理士試験で高い合格率

医療福祉秘書学科

医療福祉秘書学科では医療事務管理士の各試験で高い合格率を上げることができました。

【事務管理士検定結果】

医療福祉秘書学科2年生が「医療事務管理士(歯科)試験」と「医師事務作業補助者認定試験」、「介護事務管理士試験」を受験。結果は歯科が95.8%(全国79.3%)、医師事務は100%(全

国66.3%)、介護が88.9%(全国58.8%)でした。学習期間約2カ月での受験でしたが、検定対策の時間を多くしたことが高い合格率に結びつきました。

1年生も医科を受験

「医療事務管理士(医科)試験」(技能認定振興協会主催)を、医療福祉秘書学科1年生43人が受験し36人が合格しました。本校合格率83.7%、全国平均は69.4%でした。

秀者として表彰されました。

「成績優秀賞」は、全合格者の中から総合得点の高い順に推薦され、同協議会理事会で承認される名誉な賞です。

46人がインターンシップへ

医療福祉秘書学科、診療情報管理士専攻19人と医療福祉秘書コース2年B組18人、C組9人の計46人が、8月中旬から2週間のインターンシップを行いました。

病院やクリニックを中心に35医療機関が実習受け入れに協力していただき、充実した実習を体験できました。

健康スポーツ学科

内定先:株式会社ソフネットジャパン(Dr.ストレッチ)

相馬 侑果さん

(健康スポーツ学科ボディコンディショニングインストラクターコース2年、伊勢崎興陽高校出身)

健康づくりのパートナーに

中学、高校でバスケットボール部に所属。けがが多くなかなかプレーができない時に、さまざまな方にケアしてもらいました。この経験から、「今度は私が身体の痛みや不安を抱えている人の支えになりたい」と思い、ストレッチや施術できる職種を選びました。

内定した会社は、身体に痛みやゆがみなどを抱えている方に筋肉の深層(コア)に直接ストレッチをかけ、お客様の不安を取り除き、運動のパフォーマンスを向上させています。

入社試験では個人面接やグループワークを行い、最終面接では、「お客様の健康をサポートしたい」「ここで働きたい」という意思を伝えられるよう準備し、内定にこぎつけました。

年明けから研修が始まります。知識と技術を学び、お客様一人ひとりに合ったストレッチを提供できるようにし“お客様の健康づくりのパートナー”として信頼されるトレーナーに成長していきたいです。

アクティビティを体験し見聞を広めました。現地の、バイクと車が入り乱れて走る交通事情や物価の安さには驚かされました。物価は、日本の3分の1と言われ、1カ月の平均賃金が3万円程度だそうです。

バリ島は観光業が主流のため、現地ツアーガイドの案内を通じて、観光客へのホスピタリティを実践的に学ぶこともできました。

かわせみ祭を終えて

第54回「かわせみ祭」が9月29日と30日に行われました。実行委員長として学園祭をまとめ、成功に導いた藤掛龍也さんに活動を振り返ってもらいました。

苦労したが貴重な経験

第54回かわせみ祭実行委員長

藤掛 龍也さん

(情報システム学科2年、前橋商業高校出身)



今まで人前に出て物事をやり遂げる経験がなく、最初は戸惑いと不安でいっぱいでした。しかし終わってみれば、周囲のサポートもあり無事に終わることができ良かったと思っています。

30人の委員をまとめ、各々に的確に指示出すことは本当に難しく苦労しましたが、物事を先読みし「誰に」

「何を」「どのように」と明確に伝えることができるようになりました。

来年4月からはシステムエンジニアとして、仕事をするようになっていきます。今回の経験を通じてお客様へ満足していただける提案をする時や仕事を分担する時の指示の仕方などを学ぶことができ本当に満足しています。

かわせみ祭で大活躍

保育福祉学科

保育福祉学科の学生たちが学園祭「かわせみ祭」で大活躍しました。

▽プレイルーム

1年生は、来場する子どもたちや親子連れの人たちのためにプレイルームを展開。この日のために、夏休みに登校し、トイストーリーをモチーフに「ボウリング」「的あて」「輪投げ」などたくさん遊び道具を作りました。学生たちはプレイルームを訪れた子どもたちや保護者に笑顔で対応、楽しいひとときを過ごしていただきました。

▽模擬店でダブル受賞

2・3年生は合同で模擬店「しあわせの肉巻き本舗」を出展。おいしい肉巻きおにぎりを提供できるよう試作を重ねるとともに、店舗運営がスムーズにいくよう学生同士が助け合いながら努力し、装飾にも工夫を凝らしました。その結果、購入者の列は終始途切れることなく、たくさんの肉巻きおにぎりを販売することができました。



プレイルームを展開した1年生



2・3年生全員が協力した模擬店では大きな成果も上げた

その努力は「かわせみ大賞1位」と「店舗運営賞1位」というダブル受賞につながり、大きな自信となりました。

学園祭は、保育現場を運営する保育者の立場を意識し、全員で協力することの大切さを体験する場となります。その意味でも、今回の結果は大きな成果でした。

内定しました!

内定先:株式会社ウェルネスフロンティア(ジョイリハ)

田村くるみさん

(健康スポーツ学科ボディコンディショニングインストラクターコース2年、吾妻高校出身)



高齢者の運動指導を

本校に入学したときの目標は、高校在学中に取得した介護福祉士の資格を生かせる高齢者への運動指導者になることでした。

2年生になっても、気持ちは変わることなく就職活動を始めましたが、群馬県内では高齢者の運動指導という求人は少なく、都内の企業も考え説明会などに参加しました。就職試験は4次まであり、ときには白紙を渡され書式自由の自己紹介などもありましたが、得意のイラストなどで表現しました。面接では緊張せず、気持ちを伝えました。

内定先は、マシントレーニングと運動プログラムによる介護予防サービスに加え、新たに認知症予防プログラムを提供しています。また「ジョイフィット」との共同企画で、地域支援事業サービスの場を挙げ、一般高齢者・特定高齢者の健康促進を図っています。

卒業後は、初めての一人暮らしですが、持ち前の明るさと元気で仕事に励みたいと思います。

バリ島へ海外研修

観光ビジネス学科

観光ビジネス学科の研修旅行(インドネシア・バリ島)が9月10日から14日の3泊5日の日程で行われました。

今回の研修では、山間部のウブド地区にある世界遺産や、ウルワツ寺院にてバリの伝統舞踊「ケチャダンス」を鑑賞、またレンボンガン島でのビーチ

日本語能力試験「N2」アリヤニさんが合格

国際ビジネス学科

外国籍の方のみ受験可能な「日本語能力試験」というものがあります。この試験は、「言語知識(文字・語彙・文法)」「読解」「聴解」の3要素からなり、留学生が日本で進学や就職をする際に重要な資格です。試験にはN1~N5の5つのレベルがあり、数字の若い方が難しい試験となります。日本で就職する際は、N2を取得することで日本語能力を生かした仕事ができるようになります。本校の留学生はN2取得に向け、日々、勉強を頑張っています。

その中で、国際ビジネス学科1年生のトリ・アリヤニさん(インドネシア出身)が、日本に留学してからわずか



日本語能力試験「N2」に合格したアリヤニさん。日本語インドネシア語のほか、ジャワ語も話せる

2年でN2に合格しました。

アリヤニさんは、友人に勧められて日本へ留学。最初は、日本語に全く興味がなかったそうです。しかし、日本人と会話をする中でわからない言葉があり、その意味を調べていくうちに日本語への興味がわいたそうです。

試験勉強は、普段の授業のほかに日本の映画やアニメを毎日観賞しているそうです。音声も字幕も日本語にして、見て聴いて学んでいます。

今後はN1の取得や英語の勉強にも力を注ぎたいと語ってくれました。

学校法人 中央総合学園 動物看護師統一認定機構コアカリキュラム導入校

CAN 中央動物看護専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目43-27 TEL. 027-253-7211 FAX. 027-289-4005 フリーダイヤル. 0120-15-1281

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

CIA 中央情報経理専門学校 国際動物看護学科

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605

就職内定への取り組み

夢の仕事に向かって、早くも就職内定を勝ち取った中央動物看護専門学校の2年生2人に、それまでの取り組みについて聞きました。

実習で情報収集と自己PR

○内定先を知るきっかけと志望理由

石塚：内定先の動物病院に友達のペットがお世話になっていて、院長先生がとても気さくで話しやすい先生だと聞いていました。たまたま非常勤講師の先生も、その院長先生をよく知っていたので、病院内の情報を詳しく聞き、より一層そこで働きたいという気持ちが強まりました。

高橋：私は高校時代から大動物の飼育について、とても興味がありました。高校でも牛や豚など家畜動物を飼育していました。専門学校に入学して主に小動物の勉強をしてきましたが、やはり大動物の魅力を忘れることができず、牧場に就職したいと思いました。学校の求人票で林牧場を知り、ホームページで調べたところ、「世界一キレイでカッコいい養豚場へ」という言葉

内定先：藪塚動物病院

石塚 美奈さん

(新田暁高校出身)



内定の喜びを語る石塚さん(左)と高橋さん(右)

があり、そこに惹かれました。そして何より、スタッフと動物思いの会社だと感じ就職を希望しました。

○実習で頑張ったこと

石塚：ちょっとしたことでも、積極的に質問をしました。私の性格上、分からないままにしておくことができない

内定先：株式会社 林牧場

高橋明日香さん

(中之条高校出身)



ので、アピールポイントとして発揮できたと思います。そして与えられた仕事は、責任を持って迅速にやることを心がけました。

高橋：スタッフの方とコミュニケーションをしっかり取ることが大切だと思ったので、休憩の時など話しかけたり

もしました。そうしたことで、会社のことや、仕事のことなどたくさん情報を得ることができました。

○残りの学校生活でやりたいこと

石塚：実習をさせていただき、自分の課題を見つけることができました。寄生虫をより詳しく知りたいと思いました。また、血液検査もいろんなやり方があるので、習得できるように実習を通して学んでいきたいです。内定先の動物病院は、トリミングも行っているの

ので、カット技術も高めていきたいです。高橋：動物看護師統一認定試験を合格することが目標です。家畜動物についても出題されますし、感染症については小動物と似ている部分もあります。しっかり勉強し、自信をもって動物に対応できるスタッフになれるよう頑張りたいです。

国際動物看護学科では、学校で飼育している動物たちを、学生たちが家に連れて帰り、家族の一員として過ごすことができる制度(ホームステイ)を行っています。

学校飼育動物にもホームステイ体験

学生の家族とふれあい

動物を飼った経験がない学生でも、週末など短い期間を利用して、家庭での飼育を経験できることで大好評です。もちろん、動物にも学校内の暮らしだけでなく、一般家庭の生活をさせることで、学生以外の人から愛情を受けることができます。

学生たちは、「動物の成長を身近に見ることができてうれしい」「動物が苦手な家族が、抱っこもできるようになり可愛がってくれている」「動物がいることにより、散歩をする機会ができ、気分転換にもなり、楽しみが増えた」と話しています。

今後も、動物たちに学校以外で多くの経験をさせて、心も大きく育ってほしいと願っています。



家族の一員として野外散歩するファミリー犬の「はな」

ファミリー犬の避妊手術を見学

国際動物看護学科1年生が8月3日、安中動物病院でファミリー犬「はな」の避妊手術見学を行いました。手術見学の前には授業で手術の過程や使用器具などを学び、当日は実際に助手や麻酔カルテを記入するなどの役割を任せていただきました。

学生は初めての動物病院実習で緊張していましたが、それぞれ担当になっ

た役割の説明を真剣に聞き取り組んでいました。

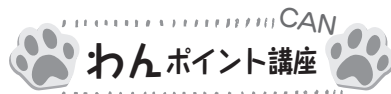
【手術助手を担当して】

手術前に私がしたことは使用する器具の形と名前を覚えることでした。見た目が似ている器具が多く、当日まで一生懸命覚えました。手術が始まった時は、先生がメスを入れた瞬間、頭の中が真っ白になりました。でも、すぐ先生が「この器具持っていて」「ここ切って」と指示してくださったので、緊張していましたが無事にやりきることができました。犬の避妊手術は一般的な手術なので、インターンシップま



手術助手をする永井さん

では流れをしっかり覚え、再チャレンジしたいです。(永井初花：国際動物看護学科1年、勢多農林高校出身)



避妊・去勢

「病気でもないのにお腹を切りたくない」「愛犬や愛猫の不妊手術なんてかわいそう」
そうお考えの方は
多いのではないで

健康を考え決断を

しょうか。でも、ちょっと待ってください。その子の健康を考えた時に避妊や去勢という選択肢があることを覚えておいてほしいのです。

メリットとしては、望まれない妊娠で不幸な子を増やさないだけでなく、性ホルモンに関連した疾病で子宮蓄膿症・乳腺腫瘍・前立腺肥大症・

会陰ヘルニア・肛門周囲腺腫等の予防になります。特に猫においては、激しい鳴き声やスプレー行動などの問題行動の抑制にもなります。

デメリットとしては、手術は全身麻酔で行われますので麻酔の危険性が「ゼロ」とは言えません。また、食餌や運動など気を付けないと肥満になりやすくなり

ます。手術を行う時期としては生後6か月くらいが目安ですが、犬種によっても性成熟の時期が異なるため、獣医師と相談してください。

不安もあると思いますが、動物たちが幸せな生涯を送れるよう考えてみてはいかがでしょうか。

学校法人 有坂中央学園

CIT 中央工科デザイン専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-48-1 TEL.027-255-3544(代) FAX.027-253-1124

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

難関の国家資格

第三種電気主任技術者試験(電験三種)

大澤さんが合格

難関の国家資格「第三種電気主任技術者試験」(9月2日実施)で、本校テクニカルエンジニア学科2年の大澤洋貴さん(前橋工業高校出身)が見事合格を果たしました。

経済産業省所管のこの試験は通称「電験三種」とも言われ、電気分野の国家資格の中でも難易度が高く、今回の試験でも4科目(理論、電力、機械、法規)すべての合格者は、受験者42,976人に対しわずか3,918人(合格率9.1%)で、まさに狭き門でした。

資格取得者に対する業界の評価も高く、工場やビル、発電所などの電気設備では保安監督を行う電気主任技術者を選任することが法律上義務付けられており、それらの業務に従事することができます。



目標に向けて努力する大澤さん

さらに上位資格取得したい

大澤洋貴さんコメント

放課後の時間を使ってとにかく勉強をして、努力を続けました。将来は電気主任技術者として仕事をしたいので、更に上位資格の電験二種・一種を目指して、一人前の主任技術者になれるよう頑張りたいと思います。

就職早期内定相次ぐ

本校では、学んだ技術や取得した資格や検定を生かし、希望の職種に就職内定を決めた学生が相次いでいます。

内定先：株式会社SUBARU
プロダクトデザイン学科2年
3D-CADコース



大島 勇輝さん

(クラーク記念国際高校前橋出身)

地元の企業に誇り

出身地の太田市を代表し、世界でも知られている企業で誇りを持って仕事ができること、安全性能をとっても大切にしていることに魅力を感じ、試験を受けました。

入社試験では、3次元CAD利用技術者試験の取得に力を入れ、準1級に満点合格したことや、商品企画の流れを学んでいることをアピールした結果、内定をいただくことができました。

今後も、3次元CAD利用技術者試験の1級取得を目指しつつ、試験勉強を通してモデリング能力を高め、職場で活躍できるよう努力していきます。

内定先：一般財団法人
関東電気保安協会
テクニカルエンジニア学科2年
電気工事士コース(2年制)



人見 洋平さん

(足利工業高校出身)

資格取得の意気込みを強調

電気の安全を守るトップ企業であること、電験三種の実務経験を積むことができる法人であったため、ここを志

内定先：株式会社 関電工
テクニカルエンジニア学科2年
電気工事士コース(2年制)



山田 涼さん

(伊勢崎商業高校出身)

明るく積極的に

入社試験を受ける前に、過去に受験した先輩方の就職活動報告書や試験報告書を読みました。インターネットで先輩のコメントや経験談を検索して読むこともしました。

面接試験直前には、担任の先生に模擬面接を何度もしてもらったことで、落ち着いて本番に臨むことができました。用意していた答えだけではなく、その場の質問に対する的確な答えを求められ、持ち前の明るさとコミュニケーション力を評価されたのだと思います。

早く仕事を覚えて周りの人たちに認めてもらえるよう頑張りたいです。

望し内定をいただくことができました。

面接では緊張しましたが、電験三種取得への意気込みを強調し、質問にもハキハキと元気よく自信を持って答えられたことが内定につながったと思います。工業高校の電気科出身ということも大きかったです。

入社までの半年間で、第一種電気工事士試験合格と、来年に向けた電験三種の勉強を頑張りたいです。

カナダで35チーム参加、健闘の17位

カナダで行われた世界ミックスカーリング選手権(10月13~20日)に本校テクニカルエンジニア学科2年生の金井大成さん(軽井沢高校出身)が、日本代表メンバーとして出場しました。カーリングはオリンピックでも日本代表の活躍が注目を集めた競技。今回はミックス大会で男女2人ずつの混合チーム(チーム軽井沢)として出場しました。



日本代表に選ばれた金井さん(上毛新聞社提供)

金井さんはチームの司令塔(スキップ)を務め活躍。結果は全35チーム中17位と、世界を相手に健闘しました。大会を終え帰国した金井さんは「今後もカーリング練習と資格試験に向けた勉強を続けていきたい」と話しました。

今回の出場に際し、学園の中島利郎代表から激励を受け、スポーツ・文化教育基金から支援が送られました。



中島利郎学園代表から激励を受ける

世界ミックスカーリング選手権 日本代表に金井さん(TE2年)

最優秀賞に高坂さん

前橋まつりポスター

第70回前橋まつりポスターデザインコンテストで、本校デジタルデザイン学科2年の高坂百花さんの作品が最優秀賞を受賞、ポスターとして採用されました=写真。

高坂さんは「風と炎をイメージしてまつりの盛り上がり表現しました。私のポスターを見て多くの方がおまつりに来てくれるとうれしい」と話していました。

また、高坂さんは、自衛官募集ポスターデザインコンテストでも優秀賞を受賞しています。



【前橋まつりポスターデザイン】

最優秀賞：高坂百花(デジタルデザイン学科2年、伊勢崎清明高校出身)

【自衛官募集ポスター】

優秀賞：高坂百花(〃)



現地で説明を受ける学生たち

を繰り返して模型をつくり、機能を説明する映像を制作し提案しました。

実際に問題を抱えている現場の声を聞き、現地を確認したことで、製品をつくる意味を深く考えて取り組むことができました。

中央農業大学校と連携 農業問題の解決提案

プロダクトデザイン学科2年生有志が、中央農業大学校の学生が直面している、トマト栽培実習で発生する作業量の多さという問題に対し、アイデア提案「Vegetablead」を行いました。

提案にあたり、講師、学生、農場の方々からヒアリングを行い、トマト栽培の誘引作業を軽減するシステムを考えました。

学生たちは、スケッチ、設計、試作

同窓会引継ぎと懇親会のご案内

平成30年度末をもって中央工科デザイン専門学校の同窓会が中央情報大学校(高崎市)へ引き継がれることに際し、本校の全同窓生を対象にした懇親会を、下記日程で開催します。

日時：平成31年2月9日(土)

午後5時(予定)

会場：高崎メトロポリタンホテル 丹頂Ⅱ

(詳細は同窓会より別途ご案内いたします)

臨床実習に向け 34人が決意新た

太田校

10月から臨床実習に臨む2年生（15期生）34人の戴帽式が7月19日、ロイヤルチェスター太田で行われました。

多くの来賓・保護者の見守る中、戴帽式に臨んだ学生たちは、それまでに戴帽式審査会を通過しなければなりません。友人同士で励ましあいながら、勉強や練習を行った結果、無事全員が審査会に合格し、この日を迎えることができました。

式典では、本校が所属する中央カレッジグループの中島利郎代表と太田新

田歯科医師会の飯塚光宏副会長から学生一人一人がナースキャップを受けました。

戴帽学生たちは、代表の石黒真衣さん（鷲宮高校出身）を中心に「思いやりの心を忘れず学習した知識と技術を社会のために役立てます。歯科医療の尊厳を守り医療従事者としての責務の重さを自覚し常に連携と強調、博愛と奉仕の心を持ち続けます」と全員で固く誓いました。



キャップを受ける学生たち



全員で誓いの言葉を述べる戴帽学生

この学生たちは10月1日から臨床実習に入りました。これまでに学んだ知識・技術を生かして、さらに研鑽を積んでいくことになります。

厳かに戴帽式

中央医療歯科専門学校太田校、高崎校でそれぞれ戴帽式が行われました。本校の戴帽式は、歯科衛生士になるための決意を誓う厳粛な式典で、授与されたナースキャップには、自覚、責任、愛、信頼、感動、誇りの意味が込められています。

太田新田歯科医師会と共催も

就職ガイダンスを3回企画

早期内定目指し熱心に 25医院から説明受ける

早期内定を目的にした「就職ガイダンス」が9月20日、10月4日・11日の3回本校で行われ、延べ25の医院から多くの歯科医師・歯科衛生士の人たちが参加。学生たちは、歯科医院の仕事内容や歯科衛生士の役割や待遇などを直接、具体的に説明を受けました。

このガイダンスは、学生たちの就職活動に役立ててもらおうと企画されたもので、最初の2回は、太田新田歯科医師会と本校の共催、10月11日は本校主催で行いました。

参加学生は、1医院約20分間の説明をローテーションで受け、医院の特色などを知るとともに、仕事内容や条件



歯科医院ごとに説明を受ける学生たち

などを質問。このガイダンスを、「年内全員内定」のチャンスととらえ、しっかりメモをとるなど真剣な態度で臨む姿が見られました。

参加医院の歯科衛生士のなかには卒業生も多く、先輩からの生の声は学生の心に響いたようでした。

学生たちは、3月初旬に歯科衛生士国家試験を控えており、年内に就職を内定し、年明けには国家試験合格に向けて集中できるよう学校全体で就職活動を応援していきます。

家族らが協力

緊張の患者実習

2年生の患者実習が8月5日と9月2日に行われました。この実習は10月からの臨床実習に向けて、実際に学生の家族を患者として行うものです。

学生たちは、家族が患者役といっても臨床実習を想定した一連の流れに普



緊張の中で行われた患者実習

段の授業とは違う緊張感を感じていたようでした。

1回目の実習は、緊張からか学んだ技術や知識が十分に発揮できなかった学生もいましたが、2回目の実習では1回目の反省点を踏まえ実習に取り組んでいる姿が見られました。

歯科関連テーマで卒業研究発表会

3年生47人による卒業研究発表会が9月14日、太田市駅なか文化館で行われました＝写真。

この発表会は3年間の集大成として、本校で学んだ知識・技能をもとに次世代を担う歯科衛生士としての自らのビジョンを盛り込んで研究発表するものです。

学生はそれぞれ歯科関連のテーマを決め、論文としてまとめ、パワーポイ



ント作成を行い、当日まで発表練習に励んできました。

本番では1人あたり5分という発表時間内で、緊張しながらも堂々と発表していました。見学した後輩たちの参考にもなった内容でした。

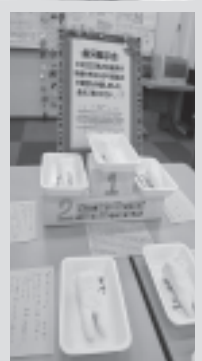
かわせみ祭で学生が企画

日々の学習成果も披露



歯科関連のクイズも企画

中央医療歯科専門学校太田校の学園祭「かわせみ祭」が10月21日、本校で開かれました。多くの店が並んだほか、歯科衛生士養成施設らしく、歯科に関する言葉などを逆さから伝え回答を求める「逆さ言葉ゲーム」や歯科体験、紙粘土で制作した「歯牙」展示など、学んだ知識や技術を披露するイベントや展示も行われ、来場者に本校の特色をアピールしていました。



「歯牙」粘土模型の展示

学校法人 中央総合学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所

CMS 中央医療歯科専門学校高崎校

〒370-0843 高崎市双葉町2-8 TEL. 027-310-5088 FAX. 027-310-5622

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

38人にキャップ 初の式典に緊張

高崎校

中央医療歯科専門学校高崎校で初の戴帽式が、2年生（1期生）38人が参加して7月26日、市内のヒカリフルコート（旧グランドパティオ高崎）で行われました。

高崎校開校後、初めての戴帽式には、多くの来賓や保護者も参加、今後臨地実習に入る学生の前途を祝いました。

学生たちは、緊張感のなかにも晴れやかな表情で、1期生としてこの日を迎えることができた喜びを噛みしめていました。

式典では、中央カレッジグループの中島利郎代表と高崎市歯科医師会の黒田真右会長から、一人ひとりナースキャップを受け、ナイチンゲール精神に基づいて誓いの言葉を述べました。

学生たちには、この日の決意を忘れずに、臨地実習で多くのことを学んでほしいと願っています。



中島代表と黒田会長からキャップを受ける



戴帽後、先生たちと記念撮影する1期生

感動と感謝胸に 実習に決意新た

戴帽学生の感想

「この日を迎えるまでに、学科試験や実技試験など数々の苦勞がありました。友達を支え合い励まし合いながら目標に向かって頑張ってきたので感動しました」

「式典は厳かな雰囲気でもとても緊張しましたが、ナースキャップを戴きキャンドルを灯すと背筋が伸びる思いがしました。戴帽式はこれから臨地実習に臨むための第一歩なので、気持ちを締め歯科衛生士への道を歩んでいきたいと思っています」

「実習先の先生や非常勤講師の先生も来てくださっていて、とてもうれしかったです。感謝の気持ちを忘れずに、これからの実習も頑張りたいと思います」

多彩な実習とセミナー開催

患者実習で 貴重な体験

10月からの臨地実習に向けての患者実習が、8月26日、9月9日の両日に行われました。

患者役として家族を学校に招き行ったもので、参加した学生たちは張りつめた空気の中、ブラッシング指導や歯面研磨の実習を行いました。



患者実習に臨んだ学生たち

患者への声かけや、ドクターへの説明など、これからの臨地実習ですぐに必要なことを学べた貴重な実習となりました。



以上に使いやすいことがわかりました。重さは90gと軽く持ちやすく、磨いた後は歯がツルツルになったと感じました。音波振動歯ブラシ用の磨き方も学ぶことができました。

特徴や使い方など学ぶ

●音波振動歯ブラシセミナー

1年生を対象にした「音波振動歯ブラシセミナー」（株式会社ジーシー主催）が10月10日に行われました＝写真。

電動歯ブラシは多くの種類が販売されています。それぞれの利点・欠点について正しい情報を伝えることも、歯科衛生士の重要な役割となっています。

なかでも音波振動歯ブラシは、1秒間に約31,000回の細かい振動で、ゴシゴシ動かさず歯に当てるだけで歯垢を落とすことができます。

学生の多くは、普通の手用歯ブラシしか使用したことがなく、セミナーで音波振動歯ブラシの種類や特徴、正しい使い方について学ぶことができました。

【セミナーの感想】

1年 亀田 瑠奈（深谷高校出身）

電動歯ブラシについては以前から興味があり、試してみたいと思っていました。初めて使ってみて、思っていた

●歯科材料セミナー

2年生を対象にした歯科材料セミナー（株式会社ジーシー主催）が、9月6日に行われました。

歯科臨床において多くの場面で使用される、印象材（歯の型を採るためのもの）や石膏、セメント（歯の被せ物を接着させるもの）などについて、講義を受けてから実習を行いました。

多くの種類の材料を実際に扱うことで、授業で学んだことがより深く理解できました。また、印象材やセメントを何度も練る経験を積んだことは臨地実習でも生かせると思います。

決、患者への提示や教育、経過観察などのたくさんの目的があります。

大田先生からは、講義および相互実習を通じて口腔内写真の意義から撮影の留意点まで詳しく指導を受けました。

臨地実習では、実際に歯科医院で口腔内写真を撮影している様子を見ることも多く、学生からは、事前にセミナーを受けたのでスムーズに補助に入れたとの感想もありました。

石膏マグネット づくりを企画

歯科衛生士養成機関の 特色を学園祭でPR

本校も参加した3校合同「中央総合学園祭2018」が、9月15日と16日に行われました。

今年は、歯科衛生士養成機関の本校の特色を意識した展示イベントを企画。歯の模型を作るときに使う石膏で、マグネットを作る体験を行いました。

学生たちの指導で、参加者にまず好みの色を選んでもらい、型に流して固めました。その後、ラメやシールなどでデコレーションをし、最後に磁石を付けて石膏マグネットを完成させました。



学園祭の様子。「石膏マグネットづくり」④と模擬店⑤



この企画を体験した子どもたちや学生の保護者など幅広い年代の人たちに、石膏マグネットづくりを楽しみながら、歯科衛生士養成の専門学校の学習を知ってもらうことができました。

●口腔内写真セミナー

2年生を対象とした口腔内写真撮影のセミナーが9月20日に開かれました。講師は、高崎・大田歯科医院の大田善秋先生にお願いしました。

歯科臨床においては、患者の資料を活用し、治療に生かしていくことが重要とされています。口腔内写真は記録としてだけでなく、問題点の発見や解

学校法人 有坂中央学園

GLC 群馬法科ビジネス専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1 TEL 027-256-7700(代) FAX 027-256-8811

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

平成30年度 公務員試験

1次合格が累計で240人突破

国家・地方、警察・消防など

1次合格、県内全域自治体で

平成30年度公務員試験も1次試験がほぼ終了。10月26日現在、公務員等の1次試験合格者数は累計243人に達しています。日程の早い試験では、既に最終合格を果たした学生も出ています。現在、1次合格者は、最終合格者の後に続こうと、2次以降の試験に向け、準備を進めています。

今年の主な試験の1次試験合格先を職種別に見ると、国家公務員59人、都県職26人、市区町村職45人、警察官70人、消防官38人となっており、好調な出足です。群馬県内では、群馬県警察官と群馬県事務職員はもとより、ほぼ群馬県全域の自治体および消防本部で合格を達成しています。県外では、警視庁警察官、東京消防庁、さいたま市

消防、横浜市消防、足利市消防、埼玉県警察官、東京都・神奈川県・千葉県事務職員、東京特別区などで1次合格が確認されています。引き続き合格発表される試験もあります。

1次試験結果が発表された試験については、順次2次試験が実施されていく予定です。2次以降の試験は、面接はもとより、作文、集団討論等、各自自治体や警察・消防によって多様な形式をとっています。受験先の業務内容に加えて、試験そのものの情報を集め、対策を進めていくことが求められます。

10月末時点で最終合格となった試験は、大卒・短大卒程度の試験分類で、群馬県職員の学校事務、桐生市役所、富岡市役所、群馬県警察官5月試験(本年10月採用)、軽井沢町役場となっています。

試験ですでに13人もの最終合格が確定しております。群馬県警5月試験の高卒女性区分においては昨年と同様に健闘し、最終合格者4人のうち2人が本校在校生でした。志望先を同じくする者同士、切磋琢磨しながら高め合った結果であると言えます。

高卒程度の試験では、群馬県警5月

本校に学び、群馬県の女性警察官として見事に合格した須田栞菜さんと黒岩沙耶さんに、警察官を志望した動機や困難な試験を乗り越えた秘けつなどを聞きました。

——はじめに、警察官を目指そうと決めたきっかけを教えてください。

須田：身体を動かすことが好きな私は、リハビリなどで身体のケアを専門に行う理学療法士など、スポーツに関わる仕事がしたいと考えていました。ただ、高校生になってから交通事故が多く起こっている現実を目の当たりにし、その先に不幸になる人がいるのではと危機意識を強く感じました。交通事故に遭う人が1人でも減ってほしい、それに携わる仕事がしたいと思い、警察官を目指そうと思いました。

黒岩：高校生の時に自転車の盗難に遭い、対応してくれた女性警察官に憧れて、警察官を目指そうと思いました。群馬県では中高生が自転車で通学することが多いので、登下校時の安全や自転車の盗難などで困っている人の助けになりたいです。また、本校で学んで警察官になった部活の先輩から、「警察官を目指してみようよ!」と背中を押されたことも、大きなきっかけになりました。

——入学から現在まで、須田さんと黒岩さんは約半年間勉強に取り組んできましたが、クラスでの様子も含めて教養試験への対策はどのように進めてきましたか。

須田：警察・消防1年制のクラスは、クラスメイトの個性が強く、普段はとてにぎやかなクラスです。また、先生方と学生の距離が近く、わからないところをいつでも気軽に質問できる環境です。積極的な学生と先生とのやりとりから授業が面白くなり、勉強そのものも楽しくできるようになりました。



警察官・消防士コース(1年制)
1年 須田 栞菜さん
(桐生南高校出身)

合格者の声 群馬県女性警察官
群馬法科ビジネス専門学校

警察官・消防士コース(2年制)
1年 黒岩 沙耶さん
(高崎商業高校出身)

須田 面接練習繰り返し、自信に 苦手な面接も、仲間と克服 黒岩

た。

黒岩：警察・消防2年制のクラスも同じように元気がよく、にぎやかなクラスです。やる気のあるクラスメイトたちと一緒に、放課後に残って自習しました。高校3年生のときに参加した夏期セミナーで配布されたプリントをとっておいて、分からないところを先生に質問しながら勉強を進めました。

須田：私も家以外で勉強するタイプでしたが、黒岩さんのように学校に残るのではなく、図書館などに行って勉強しました。分からないところを教え合えるように、友達を誘って勉強を進めました。図書館では授業の復習を中心で行い、授業中のノートが見やすくなるように工夫しました。暗記系科目は、コツコツと努力することで解ける問題が増え、解くスピードが速くなって自信ができました。

黒岩：私も授業を中心に、放課後は復習に充てるようにしました。基本的には授業内で理解できるように心がけ、授業に集中しました。放課後などに復習がしやすいようなノートづくりを心がけました。問題が足りないときには先生に相談してプリントを作成してもらい、それを何度も繰り返すこと

で基礎から固めていくことを心がけました。

——2次試験、3次試験の面接に向けてはどのように準備しましたか。

須田：ズバリ、「書く!出す!やる!」を心がけました。「書く」というのは、面接で話す内容をノートにまとめることです。それを担任の先生に「出す」ことで確認してもらい、自分の考えをより具体的な言葉に落とし込んでもらいました。そのノートをもとにして、何度も面接練習を「やる」ことを意識しました。まず、面接練習で指摘されたことは、考えながら話すときに、視線が上向くくせです。急な質問がきたときなど、その場で考えることを求められる場面で悪いくせがでないように意識し、直すように心がけました。また、はじめは緊張していたこともあり、話す声が小さく、先生から何度も指導を受けました。練習を通して、警察官になりたいという気持ちを前面に出すことで、声に気持ちが乗り、大きな声で話せるようになりました。

黒岩：私は面接そのものに苦手意識をもっていました。群馬県警は3次面接まであるため、何度も練習しました。話したいことのイメージはあっても、

言葉にするのが苦手だったので、2次面接の準備では苦労しました。夜遅くまで先生に相談しながら、必死になってノートにまとめたことが大変でした。何度も自分の言葉にしていくことで、3次面接の準備では自力で工夫しながら言葉にできるようになりました。特に、気になっていたニュースに関して、面接直前で大きな動きがあったので、資料を分析し、きちんと面接で話せるように準備しました。模擬面接では、須田さんとは逆に視線が下がってしまう傾向があったので、面接官を見据えることを意識しました。また、人見知りの克服が課題だったこともあり、クラスメイトの数名が面接官役になってくれ、夜遅くまで人に慣れる練習をしてくれたことに感謝しています。

——最後に、これから試験本番に臨む同級生や後輩に向けて、アドバイスやメッセージをお願いします。

黒岩：勉強は自分との勝負です。警察・消防クラスは、クラス全体の元気がよく、身近なライバルとしてもよき相談者としても切磋琢磨し合える環境です。まずはやる気になること、いい結果を思い描いて努力を続ければ、必ず合格できると思います。

須田：私もそう思います。勉強は自分との闘いですから、結果はちゃんとついてくるはずですよ。それに、やった分だけ達成感が得られるのもいいですね。

黒岩：面接練習では、練習のほうが緊張しました。何度も繰り返して練習して、本番ではリラックスして臨むことが大切だと感じました。

須田：実際に3次面接では、面接官と会話のキャッチボールができた感触がありました。努力を重ねておいて、本番では面接官との会話を楽めると結果が出るように感じます。これから公務員試験を目指す皆さん、がんばれ!

合格めざし「面接強化週間」

あいさつ、カード記入、模擬面接など 職員総力体制で指導

公務員試験では近年、人物重視の傾向が強くなり、2次試験以降に実施される面接試験は、公務員合格のいわば登竜門となっています。本校では、10月中旬から本格的に始まる面接試験に備え、10月3日から5日までの3日間にわたり、学校長をはじめとした職員全員体制で面接強化週間を実施しました。

受験者の公務への理解や、人間性、業務への適性などが厳しく評価される面接試験。その倍率は5倍以上となる職種も多く、突破のためには、事前の綿密な準備が欠かせないものとなっています。今回の面接強化週間は、それらの状況に対応したものです。

実施にあたっては、本校と連携関係にある実務教育出版社の飯川昇氏、宮脇渉氏の協力も得て、職員全員体制で行いました。

【全体講義】はじめに、全体講義として、宮脇氏から面接に臨むうえでの心構えや、質問項目ごとのポイントについて講義がありました。また、入退室時のあいさつや、礼といった基本作法の実践もあり、学生たちは、第一印象から勝負が始まる試験であることを

実感し、気持ちを引き締めていました。

【面接カード】次に、各自、面接時に提出する「面接カード」の作成に移りました。これは、実際の面接試験でも使用されることが多く、面接の参考資料として、受験者に志望動機や自己PRなどを文章化させ、提出させるものです。

強化週間の中でも、これまで漠然とした志望動機しか持っていなかった学生は、目指す仕事のやりがいや魅力を自分の言葉で表現する難しさに直面していました。自己PRについても、自分の長所を述べることはできても、それを業務への適性としてアピールする段階で苦労している姿が見られました。学生たちは講師のアドバイスを受けながら、何度も書き直すなど真剣に



全体講義で入室時のあいさつを実践



回答の軸となる面接カードの添削



入退室の流れを含めた模擬面接に臨む

作成を進めていました。

【模擬面接】カードが完成した学生は、順次模擬面接に移りました。模擬面接は二段階に分かれ、一段階目では面接カードの内容に沿った質問が行われ、次の二段階目では、さらに深く細かく踏み込んだ質問がなされました。最初は、不慣れな様子の学生が目立ちましたが、指摘された点を改善しながら、合格までに何度も挑戦。練習を重

ねる中で、予想外の質問も含めて、堂々と答えられるようになりました。

面接で評価される礼儀作法や会話力、職業への理解は、試験限りのものではなく、そのまま公務員として現場で求められる能力に直結するものです。今回の経験を活かし、各学生が公務員合格を果たし、その後の業務において活躍していくことを期待します。

夏期セミナー 150人が参加

前橋・桐生で開催



多くの参加者で熱気があふれた夏期セミナー

夏休み、公務員受験シーズンの本格到来を前に、主に現役高校生を対象とした「公務員試験夏期セミナー」が本校会場で開催されました。14日間の日程で、公務員試験で問われる全ての科目の対策授業を行うものです。その他、試験本番の難易度や出題パターンを想定した模擬試験や、本校を卒業し、現役公務員として働くOB・OGとの座談会も含まれています。桐生会場においても、「短期集中セミナー」として7日間の対策授業を行いました。受付開始直後から多数の申し込みがあり、本年度は、両会場合計で、昨年度を上回る約150人の受講生が参加しました。今回のセミナーも、受講生それぞれ

の学習意欲は高く、授業に集中して臨むことに加え、授業終了後も積極的に講師に質問したり、自習に取り組む様子が見られました。

公務員試験では、判断推理や数推などの特有の科目からも出題されますが、今回の授業を通じて、独学で勉強していたそれらの科目への不安が解消されたという受講生も多かったです。

終了後の感想では、「科目の内容だけでなく、効果的な勉強法も教えていただけました」との声があり、今後の公務員試験に向けた学習を継続していくうえでも、自信をつけることができました。

社会人としてさらなる成長を 速成コースで修了式

半年間での短期集中学習を行う速成(半年)コースの修了式が9月26日に行われ、6人の修了生が参加、修了証書を林康宏学校長から受けました。

林学校長からは、「目標を定めて前向きに努力し、社会人となっても、さらなる成長を続けてほしい」と、期待を込めた送辞の言葉が贈られました。



速成コースの修了式

まずは最終合格という目標達成のため、引き続き面接等の準備を進めていく予定です。

陸上自衛隊で体験実習 規律と協力、集団行動学ぶ

警察官・消防士コース(2年制)の1年クラスが7月25日、陸上自衛隊相馬原駐屯地にて、「隊内生活体験」実習に参加しました。この実習は、自衛官という職種への知識を深め、更に、集団行動に必要な心構えを学ぶことを目的に実施されています。

当日は、学生代表から第48普通科連隊重迫撃砲中隊長への着隊申告から始まり、続いて迷彩服や半長靴、弾帯といった装備品の交付が行われました。

学生たちは、隊員の方々から、靴ひもの結び方、雑嚢の位置等、細かな点まで乱れないよう指導を受け、実習を開始。整列や回れ右などの基本動作を確認した後は、3班に分かれて訓練

の成果を発表しました。

その後は、野外で昼食をとりながら、榛名山方面へ登る行軍訓練。気温は高く、全長およそ6kmにも及ぶ行程でしたが、全ての学生が諦めることなく、完歩しました。また、大雨の直後ということもあり、道中は倒木などで塞がれた道を進むため、手を取り合って協力する姿勢も見られました。

学生たちは、普段疎かになりがちな「時間厳守・素早い行動」といったルールが徹底される環境を体験。同時に、規律を守り協力し合ってこそ、チームとしての成功につながることを実感しました。

ボランティア活動 学生が積極的に参加

本校では、公務員を志望する者として社会貢献の意味から多くのボランティア活動に積極的に参加しています。ボランティアでは、多くの方と人と関わり、コミュニケーション能力や、仕事に対する取り組み方を養うことができます。

高崎市の観音山ファミリーパークで行われた「県民フェスタ」には、今年も本校学生が多数ボランティアとして参加、来場者受付や各ブースの補助を



務めました=写真。

このほかにも、前橋七夕祭りや高崎まつり、沼田花火大会などの運営支援、老人ホームなど福祉施設でのイベントの手伝いなど、さまざまな分野でボランティアに参加しています。

学校法人 有坂中央学園 専門学校

CAG 中央農業大学校

〒371-0805 群馬県前橋市南町2-31-1 TEL.027-220-1200(代) FAX.027-223-2814

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

中央農業大学校では専門の学習や実習を経て、希望の企業や団体に就職早期内定を決めた学生が出ています。これからの夢や後輩へのメッセージをインタビューしました。

夢に向かって

内定者紹介

内定先：株式会社上野振興公社

土屋 拓巳さん

(食農調理師学科新商品開発専攻、玉村高校出身)



自然の中で働きたい

▽内定先を選んだ理由

幼少期から自然が好きで大自然の中で働くことが夢でした。調理師として多くのお客様に喜んでいただけるような料理を提供したいという思いもあり、自然に囲まれたこの企業で働きたいと思いました。

▽今後の抱負

本校で得た知識や技術を生かし、お客様に満足していただける料理を提供できる調理師になりたいです。そのため、調理技術をさらに向上させより多くの方に喜んでもらえるよう頑張りたいと思います。

▽後輩へのメッセージ

入学してからの2年間は長いようでとても短く感じます。日々の授業はもちろんのこと、各行事、検定などに全力で取り組み、学生生活を悔いの残らないように過ごしてください。

内定先：ファームドゥホールディングス株式会社

芦田 涼真さん

(農業経営学科農業ビジネスコース、桐生第一高校出身)



栽培技術も生かしたい

▽内定先を選んだ理由

本校の学校行事であるインターンシップで担当してくださった方の対応が丁寧で、とても良い職場環境だと思ったことが一番の理由です。また、本校で学んだ栽培の知識や技術も十分に活用できると思ったので選びました。

▽今後の抱負

残りの学校生活を卒業研究や検定取得に向けての勉強、友人との思い出づくりに使い、入社後は集中して仕事に取り組み、数多くの仕事を覚えて活躍していきたいです。

▽後輩へのメッセージ

自分には不要だと思った勉強や資格が、後になって役立つことがあります。私は1年生の時、危険物取扱者乙種四類の試験に落ち、後でその資格の重要性に気づき後悔しました。今取り組むべきことに全力で取り組みましょう。

内定先：N-FLOWER

黒澤 ゆいさん

(農業経営学科フラワー&園芸ビジネスコース、大泉高校出身)



スキルを磨きたい

▽内定先を選んだ理由

インターンシップでお世話になったことがきっかけです。ブライダルフラワーはもちろん、バルーンを扱ったアレンジメントの新鮮さに衝撃を受けました。学生である私の意見やアイデアも真剣に聞いてくださり、ここで働きたいという思いが強くなりました。

▽今後の抱負

就職先でスキルを磨き、いずれは独立して海外の顧客と取引できるようになるのが夢です。一つの分野だけでなく、ブライダルや店舗販売などいろいろなことを幅広くこなせるようになります。

▽後輩へのメッセージ

“今”できることを“今”してほしいです。思い立ったらまず行動して、後悔ではなく、反省できる学生生活を過ごしてほしいと思います。

内定先：株式会社OPENER

島田 公太さん

(農業経営学科農業ICTコース、勢多農林高校出身)



システム開発に取り組みたい

▽内定先を選んだ理由

農業ICTについて勉強をしているうちに、プログラミングやWeb制作などに興味を持ちました。これまで農業で学んだことを生かしつつ、システム開発に取り組みたいと思い、この会社を選びました。

▽今後の抱負

入社前からIT関連資格取得に向けた勉強に取り組み、入社後はシステムの開発を目標に精いっぱい努力していきたいと思います。

▽後輩へのメッセージ

自分が本当にやりたい仕事ができる企業に就職してほしいです。入社試験や面接の場では、自分が志望する企業で働きたいという気持ちを、しっかりと企業の担当者に伝えてください。

目指せ就職早期内定

13社が参加しガイダンス

本校主催の企業ガイダンスが7月18日に開催され、13社が参加しました＝写真。

このガイダンスは、本校の学びの専門分野である「農・花・食」の業界を支える担当者から、直接に創業理念や事業内容を学び、希望する企業への理解を深め、就職早期内定を目指すことを目的として毎年開催しています。

企業ごとに設けられたコーナーで、学生たちは熱心に説明を受け、積極的に質問していました。

【参加企業一覧】(順不同・敬称略)

グリーンリーフ株式会社、株式会社コ



メリ、株式会社アールディーシー、株式会社アーミップ、株式会社群馬クボタ、ファームドゥホールディングス株式会社、有限会社宮城種豚センター、日清医療食品株式会社北関東支店、西洋フード・コンパスグループ株式会社、株式会社LEOC、株式会社あさくま、有限会社ノームランド高橋、ヤンマーアグリジャパン株式会社関東甲信越支社

コンテスト入賞結果

本校の学生が応募した各種コンテストの結果を報告します。

☆「焼肉料理コンテスト2018」

テーマ「ジャンルを超えたビビンバ(混ぜご飯)」(主催：事業協同組合全国焼肉協会、後援：農林水産省)

応募総数 約240商品

入選：野村 幸音(食農調理師学科1年、渋川青翠高校出身)

市川 莉沙(同2年、下仁田高校出身)

☆第10回福神漬を使ったレシピコンテスト

テーマ「福神漬を使ったフォトジェニックなレシピ」(主催：株式会社新進)

応募総数 約180商品

入賞：奈良 圭悟(食農調理師学科1年、樹徳高校出身)

商品開発で学生も一役

ハンバーグのメニューづくり GGCと本校が5年目のコラボ

食農調理師学科では2年生を中心に2013年からステーキのGGC前橋店・高崎店、ハッピーバーグと夏・冬の年2回、コラボメニューの開発を行っています。

10回目を迎える今年の夏は「夏のGGCハンバーグ」など2品の販売を行いました。

メニュー開発は、学生たちがまず企業から説明を受け、そこからアイデアを出し、試作を行うことから始まります。実際に作ってみると思い通りの味



コラボでメニュー開発に挑んだ学生たちとGGCの代表

や見た目にならないことも多く、試行錯誤を繰り返すことで商品の完成度を高めていきました。

その後2回のプレゼンを行い、選ばれた学生のメニューが実際に店舗で販売されています。このコラボでは、学生は自らが考案した商品が販売される喜びを味わい、選ばれなかった場合は改善点を考えることができます。

「すき焼きまんにゅう」 群馬県庁などで販売開始

昨年度、当校の学生が商品開発し、ぐんま・すき焼き〇〇アイデアコンテスト食部門で最優秀賞を受賞した「すき焼きまんにゅう」が10月1日から群馬県庁内の生協で販売開始されています。月曜日と木曜日に15個限定販売です。好評のため、昼で完売する日もあります。



店頭販売されている「すき焼きまんにゅう」

また、前橋市上泉町のパン店メルシーでも販売中です。

群馬イノベーションアワード (GIA) 2018

外山さん、武さんが 2次審査で堂々プレゼン

「群馬から起業家を！」。本年度で6回目を迎える「群馬イノベーションアワード (GIA) 2018」の1次審査 (書類審査) の結果が発表され、本校農業経営学科の学生2人が10月28日に上毛ホールで行われた2次審査へ進出、堂々とプレゼンテーションしました。

結果は1人が12月1日の最終選考進出を決めました。

1次審査は、「ビジネスプラン」「スタートアップ」「イノベーション」の3部門に402件がエントリー、47組が2次審査へ進み、選考の結果15組がファイナリストに選ばれました。



2次審査に進出した外山さん (左) と武さん (右)

本校学生は、「ビジネスプラン」大学生・専門学校生の部 (40件応募) に参加。2次審査へ同部門から進出したのは10件でした。2次審査に選ばれた本校学生2人とその提案は次の通りです (発表順)。
外山美夏子 (農業経営学科2年、新潟

県立長岡農業高校出身) 「花の廃棄率の削減と再利用」
武 彩伽 (同学科2年、都立雪谷高校出身) 「アグリウム=アグリカルチャー×アクアリウム」= GIAファイナルへ進出

収穫報告

農業経営学科・ファーム農業経営学科の各1年生が9月28日嬌恋でのキャベツの収穫を行いました。

このキャベツは、学園祭「かわせみ祭」(9月29・30日)の野菜販売コーナーで最も人気のある商品 (野菜) です。

当日は好天に恵まれ、高原の澄んだ空気と抜けるような青空を堪能しながら、手際よく収穫を進め、500個を収穫しました。



嬌恋キャベツを収穫した学生たち

学園祭用のキャベツ 嬌恋村で収穫体験

キャベツの一大産地である嬌恋村で、実際に圃場に入り、作物を収穫

するという経験を通して、学生たちは多くを学び取ることができました。学園祭での販売も連日好調で完売でした。

食の駅や展示会を見学 1年生が国内研修旅行

1年生の国内研修旅行が10月11日、12日に1泊2日で行われ、食の駅や大型展示会などを見学しました。

初日は、関越自動車道三芳PA内にある「食の駅」を見学。教育連携企業であるファームドゥホールディングス株式会社の農場で実習を行っている学生たちは、自分たちが関わった野菜がどのように販売されているかリサーチしていました。陳列やPOP広告など今後の店舗実習の参考になったようでした。その後は東京ディズニーシーに向かい、ハロウィンの雰囲気を楽しんで



いました=写真。

2日目は、幕張メッセで開催されていた「農業ワールド2018」へ。最先端の農業資材や園芸・切花、6次産業化に関する国内最大規模の展示会を見学しました。広い会場で見どころが満載でしたが、事前学習の成果もあり、時間ぎりぎりまで各コーナーを見学していた学生も多く、充実した国内研修旅行となりました。

和食アドバイザー

1級実技講習会を開催 本校の大津さんも合格

和食アドバイザー1級を取得するための実技講習会が、9月7日から9日の3日間にわたり、本校で開催されました=写真。

10回目となる今回の実技講習会は、沖縄、熊本、石川など遠方からの受講者も含め県外参加者が半数を超えました。講習会では群馬の食材や郷土料理を中心とした実習、礼儀作法の演習、和食の魅力を伝えるためのコミュニケーション力を養う講義など3日間で学びました。今回の実技講習会を終え、新たに9人が合格しました。



本校の大津曜平さん (食農調理師学科和食アドバイザー専攻) も受講し、和食アドバイザー1級の資格を取得しました。

和食アドバイザー検定は、本年度から和食アドバイザー1級 (旧和食アドバイザー)、2級 (旧ジュニア和食アドバイザー)、3級 (新設) と資格名称を改めました。3級を設けたことで、高校生以下でも挑戦しやすくなりました。

1期生として留学生7人 日本語や農業用語など勉強中

日本語・ソーラーファームコース

本年度から始動したファーム農業経営学科に、日本語・ソーラーファームコース (4年制) が併設されました。

現在、ベトナム、ネパール、エジプトから留学生7人が在籍。学生の年齢も25歳から36歳までとさまざまですが、12月に行われる日本語能力試験合格を目指し、猛勉強中です=写真。

このコースは留学生を対象としたもので、1年生で日本語の能力を高め、日本語能力試験N2の取得を目指します。N2とは日常より幅広い場面での日本語をある程度理解できるレベルで、N1からN5の中で、N1に続き難しい区分になります。

1年生の後期 (10月) からは農業関



係用語や知識も学び始め、2年生になると連携企業による実習が行われます。実習は農産物の生産・加工・販売だけでなく、太陽光発電と農業を組み合わせたソーラーファームシステムも習得します。

このコースを卒業すると、高度専門士の称号が授与され、大学卒業者と同等の能力を持つと認定され、大学院への進学も可能となります。

有機コラム

知っていますか？有機JASマーク

有機農産物についての疑問点についてお答えします。今後、多種多様な質問をコラムの形にして紹介していきます。

第1回は、有機JASマークについてです。平成30年度第1回 (7月14日実施) の日本農業技術検定2級 [食品] 問21からの出題を例に紹介しま

す。
問題：農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないで、自然界の力で生産された食品を表しており、有機JAS規格を満たす農産物などに付けられているJASマークとして、最も適切なものを選びなさい。



答：②

解説：JAS規格制度は、JAS規格を満たしていることを確認 (格付といいます) した製品にJASマークを付けることができる制度です。

JASマークが付けられている製品は、一定の品質や特色をもっていますので、消費者が買い物で商品を選

んだり、事業者間で取引する際に、JASマークが付いていることを目印にすれば便利です。

ぜひ、ご参考にしてください。次回をお楽しみに…。

(NPO法人日本オーガニック認証協会 = 前橋市南町2-31-1)

学校法人 中央総合学園 専門学校

CID 中央情報大学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-2 TEL.027-324-8511(代) FAX.027-325-8820

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

中央情報大学校では情報や電気、デザインなど幅広い専門知識を学ぶことができます。その学習をもとに国家資格や検定に挑み、好成績を残しています。

国家資格の合格者相次ぐ

応用
情報技術者

金子さん、佐々木さん



応用情報技術者試験に合格した金子さん(左)と佐々木さん(右)

平成30年度4月実施の経済産業省の応用情報技術者試験で、本校から2人が合格しました。群馬県内合格者は4人で、県内専門学校占有率は50%でした。

応用情報技術者試験は、技術から管

【応用情報技術者試験合格者】

- 金子 貴天 (情報システム学科2年 SE・プログラマコース、沼田高校出身)
- 佐々木都吾 (高度情報システム学科2年 高度情報システムコース、藤岡中央高校出身)

理、経営まで、幅広い知識と応用力が身に付き、システム開発、IT基盤構築などの局面で、高いパフォーマンスを発揮することができる人材として認定されるものです。

合格者コメント 金子 貴天さん

問題を深く読み込む

今回の試験では、前回受験した基本情報技術者試験より、深く知識が問われました。応用技術者試験では、選択肢ではなく文章で解答する問題があり、私にとっては辛いところでした。知識面では基本情報での知識をより深く理解しようと勉強し、試験当日は問題文をしっかりと読み込むことで、ようやく解答を導くことができました。今回の合格に慢心せず、今後も「広く深く」知識を蓄えていきたいです。

第二種
電気工事士

1年生の3人



第二種電気工事士試験に合格した1年生(五十嵐、久野、小倉)

【第二種電気工事士合格者】

- 五十嵐 巧 (電気通信学科1年、高崎北高校出身)
- 小倉 良介 (同学科1年、前橋育英高校出身)
- 久野 幸也 (同学科1年、高崎工業高校出身)

合格者コメント 五十嵐 巧さん

過去問を重点的に

第二種電気工事士試験合格に向け、筆記試験は過去問題をできるだけ多く解き正答率を高めていきました。実技試験も繰り返し練習することで作業効率が上がり、短時間で配線作業ができるようになったため合格に結びつきました。次は第一種電気工事士試験合格を目標に頑張ります。

経済産業省が認定する第二種電気工事士試験に、電気通信学科1年生3人が合格しました。

同試験は6月3日に筆記、7月22日に実技が行われ、3人は両試験に合格し資格取得となりました。

第二種電気工事士は、一般住宅や小規模店舗などの電気配線の工事を行うことができる国家資格です。現在、学生たちは第一種電気工事士試験に向け、日々勉強に励んでいます。

東京ゲームショウ 2018

4年連続で出展

世界最大級のゲーム展示会「東京ゲームショウ2018」が9月20~24日に幕張メッセで開催され、e-sports人気もあり、過去最大の298,690人が来場しました。本校は「世界規模のゲーム展示会に、自分たち自身の手で参加し、経験を積みたい」という思いから、4年連続の出展となりました。

今年は「ゆるドラシル(クローバラボ株式会社)」の許諾を受けた素材を利用し、「1人1作品以上開発」をコンセプトにiPad miniに最適化したアクション・パズルなどのミニゲーム集をモバイルエンジニアコースの学生7人で企画・開発し出展しました。

また、この企画からスピンアウトし



ゲームを企画・開発した学生たち

て独立した作品として生まれた「斬撃JS」も出展しました。「斬撃JS」は、中央工科デザイン専門学校プロダクトデザイン学科2年生の有志より“ソード型専用コントローラー(Re:パティソード)”の制作協力を受け、体感型ゲームとして公開したものです。外国人来訪者を中心に、ソード型コントローラーは非常に好評で、新たな操作デバイス研究の一環とモノづくりのやりがいを感じることでなりました。

「斬撃JS」を開発して

齋藤 僚佑さん

(情報システム学科モバイルエンジニアコース2年)

「斬撃JS」というブラウザで動くゲームを開発しました。当初は、モバイルゼミのK君のアイデアから生まれたミニゲームでしたが、担任の小澤先生のアドバイスやゼミの仲間や中央工科デザイン専門学校プロダクトデザイン学科の皆さんの協力を

得て、剣型コントローラーを操る体感ゲームに生まれ変わりました。会場では多くの人に遊んでいただき、その場で感想を得ることができました。今回の経験を通じて、開発やその周辺に必要な知識や技術を身につけることができました。



来場者に説明する齋藤さん

最前線の動きを見学

本校では、県内外での見学・研修を積極的に行っています。情報やデザインなどの分野で業界の「最前線の動き」を実際に学ぶためです。

CEATEC JAPAN 2018

エレクトロニクスの未来探る

本校の電気通信学科1年生と中央工科デザイン専門学校テクニカルエンジニア学科2年生は10月19日、幕張メッセで開催された展示会「CEATEC JAPAN 2018」を見学しました。

この展示会はアジア最大級の規模を誇るIT技術とエレクトロニクスの国際展示会。最新の技術トレンドや業界動向について学ぶことができます。

今回はAIやIoTに関連した展示が多く見られました。その中でも「おもてなし」を大切にしたローソンの未来型コンビニの展示は盛況でした。

「アートプロジェクト高崎」

国内外の作家作品に出会う

デジタルデザイン学科1年生が、コミュニケーションデザイン授業の一環として10月18日、現代アートを高崎駅周辺で展示する「アートプロジェクト高崎」=写真=を見学しました。

国際的に活躍する著名な作家、新進気鋭の若手など15人のアーティストが、市内のレンガ通り、南銀座商店街、

スバルビジターセンター

デザインセミナーも

デジタルデザイン学科のプロダクトデザイン専攻と3D-CAD専攻の1年生が8月23日、太田市にある株式会社SUBARUのスバルビジターセンターを見学しました=写真=。



車の生産工場や展示ホール、安全技術ギャラリーなどを見学。加えて、先輩が内定している会社ということもあり、特別に本校学生向けのデザインセミナーを実施していただきました。

商品企画部、デザイン部の方から仕事内容の説明やデザインスケッチ、クレイモデルなどを見せてもらうことができ、貴重な体験となりました。



中部名店街さかもーる、慈光通りを会場に、アート、彫刻、絵画などを展示。街と一体化した作品に学生たちは大きな刺激を受けていました。

各種コンテストで優秀賞 ポスター採用作品も

デジタルデザイン学科

本校デジタルデザイン学科の学生たちが各地のコンテストで好成績を残しています。前橋花火大会（8月11日開催）のポスターデザインコンテストで、デジタルデザイン学科1年生、小山奈月さんのポスターデザインが優秀賞に選ばれ採用されたほか、他のコンテストでも本学科の学生が多数受賞しています。



採用された小山さんのデザイン

第62回前橋花火大会 ポスターデザインコンテスト

【優秀賞（最高位）】

小山 奈月（デジタルデザイン学科1年、前橋商業高校出身）

第44回高崎まつりボランティア募集 ポスターデザインコンテスト

【優秀賞】

小山 奈月（デジタルデザイン学科1年、前橋商業高校出身）
高橋 千晴（同学科1年、高崎商業高校出身）
成田 摩也（同学科1年、藤岡工業高校出身）

第33回ミスひまわりコンテスト 募集ポスターデザインコンテスト

【優秀賞】

小山 奈月（デジタルデザイン学科1年、前橋商業高校出身）
平塚 紗奈（同学科1年、新島学園高校出身）

第70回前橋まつり ポスターデザインコンテスト

【優秀賞】

小山 奈月（デジタルデザイン学科1年、前橋商業高校出身）



募集告知用グッズに採用された関矢さんのデザイン

群馬県自衛官募集 ポスターデザインコンテスト

【特別賞】

関矢 創（デジタルデザイン学科1年、明和県央高校出身）

学園祭を終えて

本校と高崎ビューティモード・中央医療歯科高崎校の3専門学校合同の学園祭が9月15、16日に開催されました。全体スローガン「Let's connect!! 笑顔満祭」のもと各ゼミで19店舗の模擬店を出店したほか、イベントも実施しました。本校2年生で学生本部副委員長を担当した柳井さんに話を聞きました。

学生本部実行委員・副委員長

柳井 祐奈さん

(情報システム学科2年、前橋商業高校出身)

仲間の協力に感謝

私の担当は、主に学園祭全体をフォローすることでしたが、とても苦勞しました。

多くの仕事を抱え込んで気持ちがマイナスになってしまったときもありましたが、周囲の実行委員からの



アドバイスを受け、無事に乗り越えることができました。

私の中で、皆が協力するのは

当たり前のことのように考えていましたが、今回の経験で、協力し合うことの大切さをあらためて感じました。

卒業前に大切なことを、多く得ることができた、私にとって一生思い出に残る学園祭となりました。

300人が地域貢献

高崎まつりボランティア

第44回「高崎まつり」が8月4、5日の2日間行われ、当日の清掃ボランティア活動に約300人の本校学生が参加しました。

主な業務は、リサイクルステーション（ごみの分別場所）のゴミ回収業務



猛暑の中、集めたごみを運ぶ学生たち

や高崎まつり規制エリア内のごみ拾いです。猛暑の中でしたが、熱中症に気を付けながら無事に活動を終え、地域美化に努めることができました。

留学生が群馬県電気工事工業組合で実習



電気工事工業組合を訪れた本校の留学生・教職員と組合関係者

工事用具の使い方や高所作業車体験

本校国際ビジネス学科の日本語・電気工事コース1年生22人が実習教育の一環として10月26日、前橋市にある群馬県電気工事工業組合（小谷野一彦理事長）で、電気設備工事の仕事の内容や工具の使い方、高所作業車体験などに挑戦しました。

この実習は、電気設備技術者に留学生人材を育成し活用しようと、本校と同組合の間で5月に教育提携した事業の第1弾として実施されました。

学生たちは、組合会館内で青年部会メンバーから「電気設備工事とは」「資格とは」など説明を受けた後、2班に分かれ実習に入りました。

具体的には、工事で使用する工具を前に使い方を学んだり、屋外で高所作業車のバスケットに乗ったりしました。



工事用具の名前や使い方など具体的に青年部会役員から説明を受ける

協力した同組合では「体験が、今後の第二種電気工事士試験への動機づけになってほしい。インターンシップなどでも協力したい」と話しています。

文化の違いを 肌で感じる

日光へ国内研修旅行 国際ビジネス学科



国内研修を行った国際ビジネス学科の学生たち

国際ビジネス学科では10月19日、日光方面に国内研修旅行に行ってきました。

この取り組みは、日本文化学習の一環として日本の観光施設や歴史・文化遺産などを見学・体験し、自身の見聞を広めることを目的として行われ、東武ワールドスクウェアや日光東照宮を

訪れました。

参加メンバーには、日本の建物に興味を持っている学生が多く、カメラを片手にお寺や施設の写真を撮をたくさん撮っていました。

この研修を通して日本の文化と自国の文化の違いを肌で感じ、今後の生活にいかしてもらいたいと思いました。

がんばってます！ 留学生

NGUYEN VAN CUONGさん

(国際ビジネス学科2年、ベトナム出身)

取得資格：日本語能力試験 N3 (公益財団法人日本国際教育支援協会主催)

次は N2 目指します



きました。次の試験での合格に向けて先生と一緒に対策をしていきたいと思いました。

【試験概要】
日本語能力試験は文字語彙と読解、聴解の3つの試験区分に分かれ、N1からN5まであります。授業内で使う基本的な日本語から現実の生活の幅広い場面で日本語がどの程度の理解があるかを確認することができます。今回の試験ではN2は2人、N3は18人の合格者が出ました。

昨年12月に受験した際に、合格まで10点足りませんでした。担任の先生から結果を聞いた際に、今後の勉強を進めていくうえで、文法を重点的に勉強したほうがよいとアドバイスをを受け、約半年間、今回の試験に向け頑張ってきました。

文法が理解できると読解の力も上がっていききました。今回の試験では、読解で12点も上げることがで

学校法人 中央総合学園 厚生労働大臣指定 美容師養成施設

TBM 高崎ビューティモード専門学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 TEL.027-310-2220(代) FAX.027-327-6344

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

TBM LIVE OF ART 2018 ～人生を変える出会い～

高崎ビューティモード専門学校(TBM)の伝統行事「TBM LIVE OF ART 2018 ～人生を変える出会い～」が、7月21日にエテルナ高崎で開かれ、約300人の来場者が“技術と美とパフォーマンス”を楽しみました。

このライブは、日ごろの学習成果を踏まえ、学生が主体となり構成や音楽などイメージに合ったステージを作り上げ、発表する創作ステージです。入学して3カ月の1年生と技術に磨きかけた2年生が協力し、短期間で仕上げました。学生たちは学んだメイクやカット、着付けの技術でモデルを仕上げ、モデルになった学生たちは魅せるウ

ォーキングを研究しました。今年高崎OPAとのコラボレーションステージを含め7つのステージで構成。学生たちは各ステージのテーマに沿って、ヘア・メイク・衣装・振付け・舞台構成・音響まで教員のアドバイスを受けながら、美の世界を作り上げました。今回の7ステージを紹介します。

技術と美とパフォーマンス



ラブストーリーは永遠に

Wedding Stage

Japanese Dress Stage



日本人の心、纏う楽しみ



Opening Stage

夕かびトレンド！カルチャー発信

Hair & Make Stage

運命を変える彩



Cut Stage

プロフェッショナルへの道



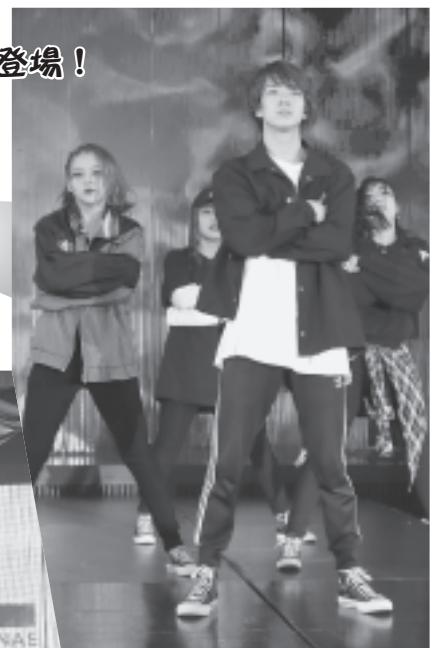
【ライブを終えて】

学生たちは、今までの伝統を生かし、卒業生の作品を参考にしながらさらなるレベルアップを目指して、主体的に考え、行動しまし

た。そのことによって、毎年グレードアップしたパフォーマンスができています。終了後、学生たちが感動の涙を流していたのが印象的でした。このイベントを通して、学生たちの成長した姿が見られました。

パフォーマー登場！

Dance Stage NEW!



Collaboration Stage

高崎オーパ人気ブランドとTBM学生のコラボ



TBMはJMA認定校 メイクアップアーティストを輩出

本校は、「一般社団法人JMA日本メイクアップ技術検定協会」の認定校として、2人のJMA認定講師が常勤しています。これまで多くのメイクアップアーティストを輩出してきました。

JMAとは、Japan Make-up Associationの略で、日本のメイク業界において、基本技術の統一化と、メイクアップアーティストの地位向上に尽力しています。メイクアップ検定協会のことをいいます。

共通の技術検定試験を行うことで、メイクスキルは各々のレベルから、全

国どの講師から学んでも共通の高い技術を身に付けることができるようになり、目標とする知識・技術が明確になりました。

また、JMAで学んだメイクアップアーティストは、日本国内だけでなく、パリコレのモデルのメイクに携われるなど、世界各国で活躍する場が提供されています。

認定校の本校では、メイクの授業カリキュラムの中に、JMAの内容を取り入れているので、授業を受けることで、3～1級までの検定試験に臨める



10月に行われた1級試験の様子

体制が整っています。

メイクの授業がより充実し、学生は本校で多くのメイク技術検定を安心して取得できるようになりました。

写真は10月に行われた1級試験の様子です。国際ビューティ学科の2年生

と美容師学科のメイク応用授業を選択している学生が受験しました。

これからも、より多くの学生が1級まで取得できるように、指導を続けていきたいと思っています。

「職業実践」の取り組み

本校では、外部の専門家を招き技術などを学ぶ「職業実践」の取り組みを行っています。その一部を紹介します。

総合・国際美容師学科 ヘアカラー技術を受講



総合・国際美容師学科1年生対象の職業実践専門課程の授業が、10月15日、10月22日の2日間行われました。

講師には、伊勢崎市にある美容室「クレオ」のスタッフを迎え、ヘアカラー技術を指導していただきました。

授業では、技術の手順から施術するにあたっての注意点など、実際の現場で行われている美容師のプロの技や、普段の授業とは違うクリエイティブな技術を学ぶことができました＝写真。

学生たちは、プロの美容師の技術を目の当たりにし、大きな収穫を得たようです。この貴重な経験を、今後の自身のスキルアップにつなげてほしいと思います。

国際ビューティ学科 ネイル技術学ぶ



国際ビューティ学科では、10月22日に、ネイルの講師を迎えてサロンなどでの実践でも役に立つ技術、マナーを学びました＝写真。

ネイル講師として、「ネイル&アイラッシュ RAVI」のサロンで活躍している近藤歩先生には、季節に合わせたネイルとハロウィンネイル技術を指導していただきました。近藤先生は本校の卒業生で、現在では店長として活躍しています。

授業では技術だけでなく、今までの経験なども話していただき参考になりました。学生の目標となる先輩ビューティストとして近藤先生は輝いています。当学科では、今後もメイクやエステなどの講師を迎えてプロの技術とマナーを学んでいきます。

メイクやネイルで協力

ハロウィンボランティア

本校の学生たちが10月20日に高崎市で行われた「たかさきハロウィン2018」にメイク・ネイルボランティアとして参加しました＝写真。

このイベントは、高崎市のにぎわい創出と回遊性向上への取り組みとして行われています。イベントではさまざまな年齢の方に接客を行うことで、技術だけでなく接客マナーも学ぶことができました。



また、本校以外にも、市内の大学・短大、専門学校からイベント実行委員が参加しており、多くの交流を深めながら、イベント運営を学ぶことができました。

学園祭を終えて

本校など高崎地区3専門学校合同の中央総合学園祭が9月15日、16日に行われました。学園祭を学生リーダーとして牽引した実行委員長に、学園祭を振り返ってもらいました。

今後につながる経験に

「中央総合学園祭」実行委員長

両川 築さん

(高崎ビューティモード専門学校
2年Bクラス、軽井沢高校出身)



学生実行委員メンバーと

学園祭で、実行委員長を務めました。自分の学校だけでなく、普段関わらない他校の学生も含めた中で実行委員長を担当することには、責任とプレッシャーを感じましたが、今後のスキルアップを考え立候補しました。

実行委員長として活動する中で学べたことは、自分の意見を相手に伝えることの難しさや大勢の意見をまとめ行動させることのリーダーシッ

プです。仲間と協力し、学園祭を成功させた時は、感動よりも感謝の気持ちでいっぱいでした。それは、実行委員長としての自分の指示を周りの仲間が実行してくれたからです。

これからの学生生活は、この経験を生かし行動するとともに、日頃から感謝を忘れずに頑張りたいと思います。

卒業生の現在

11

「Rezona Beauty Park」
＝高崎市飯塚町

前澤 琴乃さん (14期生)

自分に合った仕事です

前澤さんは本校在学中、ネイル・メイク・エステ・着付けと幅広く学び、夏休みなどの長期休暇中には通信学科のスクーリング、卒業後は、仕事とのやりくりの中、国家資格を取得しました。

現在は、まつ毛エクステンションで前澤さんを指名してくれるお客様が月に100人を超えるなど、店にとって、なくてはならない存在となっています。

「TBMでのさまざまな授業のおかげで、まつ毛エクステンションだけでなくメイクやネイル、体に関してもアドバイスし、最初はアイデザイ

今回、紹介する卒業生は、14期生の前澤琴乃さんです。前澤さんは、国際ビューティ学科と美容師通信学科を併習し、現在では、アイデザイナー兼美容アシスタントとして活躍されています。



ナーになるとは思わなかったけど、自分に合った職業が見つかりました」と、話してくれました。

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

CHS 中央高等専修学校

前橋:〒371-0842 群馬県前橋市下石倉町31-20 TEL.027-253-5596(代) FAX.027-280-5270

クラーク記念国際高等学校

前橋キャンパス <http://chs-clark.jp>

CHUO

中央カレッジグループ

インターアクトクラブ年次大会

ホスト校として大活躍 前橋に県下16校集う

「災害に備えて」テーマに

「ホスト校として大活躍」。クラーク記念国際高校前橋キャンパスが加盟するインターアクトクラブの年次大会が7月21日、群馬会館、前橋市役所、前橋市立桃井小学校を会場として開催されました。特に2018～2019年度は本校がホスト校のため、生徒主体で大会の運営を行いました。当日は、多くの来賓やロータリークラブ役員、県下16校のインターアクトクラブメンバーが参加、総勢305人の大きな大会となりました。親クラブの前橋南ロータリークラブの方々には、大変お世話になり感謝しています。



年次大会を支えたスタッフ



本校がホスト校で運営した年次大会の開会式

年次大会のテーマは「災害に備えて～人を守る、自分を守る～」。午前の基調講演では自衛隊群馬地方協力本部の木村栄子援護企画室長を講師に、災害が発生したときに取るべき行動や、緊急時に工夫して身の回りのものを利用する方法などを講演していただきました。昼休憩時には、自衛隊による炊き出し、消防隊による地震体験・煙体験も行われました。

午後は「避難所運営ゲーム(HUGゲーム)」「防災シミュレーションゲーム(クロスロード)」「避難所開設訓練」の3つの分科会に分かれ、災害が起こった時、自分はどのように行動するべきなのかを学びました。

大会開催時期は、大阪府北部地震や平成30年7月豪雨などの大きな災害が発生したこともあり、参加した生徒たちは「今ここで災害が起こったらどうなるのか」と考えながら年次大会に参加していました。

本校インターアクトクラブの多賀谷友翔会長は、「各地で災害が起こる中、災害が起こらないことが一番いいとは思いますが、万が一の回りで災害が起こったときには、今日学んだことを



基調講演する木村室長



災害テーマの分科会

生かして、少し落ち着いて行動できると思います」と感想を述べていました。

年次大会当日は、35度を超える気温となり、運営も大変でしたが、災害に合い避難生活を余儀なくされている方のことを思い、災害について真剣に考えるよい機会となりました。

来年の修学旅行前に 2年生が事前に交流 前橋・桐生合同研修会

本校の前橋・桐生両キャンパス2年生が10月4日、来年度に予定されている修学旅行に向けての事前交流

を兼ね、千葉県浦安市の東京ディズニーランドへ合同研修に行きました＝写真。

交流を目的にした研修旅行は、1台のバスで前橋校



を出発し、桐生校経由で目的地に向かいました。その車中では、両校の生徒たちのカラオケ大会が行われました。授業開始よりも早い時刻の集合、乗車ということもあり、うまくコミュニケーションがとれるか、歌うのは難しいかなどと心配していましたが、前橋キャンパスの生徒が歌い始めると徐々に桐生の生徒も歌いだし、両校の生徒同士、笑いあり拍手ありと予想以上の盛り上がりを見

せました。

目的地の東京ディズニーランドではそれぞれの班行動でしたが、園内でお互いのキャンパスの生徒と遭遇すると声を掛け合う場面も見られました。アトラクションメインで回る班やお土産購入を重視する班、疲れて集合2時間前には回るのをやめて

しまう班などさまざまでした。

帰りのバスでは早朝からの行程の影響からか疲れた様子で寝ている生徒が多く見られました。桐生キャンパスに到着、バスから降りる際に前橋の生徒に「またね」と声をかけている姿も見られました。全行程を通してトラブルもなく、集合時間に遅れる生徒もいなかったため修学旅行を見据えた充実した学年旅行となりました。

ソフトバレーに熱戦

球技大会に男女16チーム

前橋キャンパスの平成30年度「球技大会」が7月19日、前橋・ヤマト市民体育館で行われ、生徒たちは「ソフトバレーボール」に熱戦を展開しました。

参加したのは、男子11チーム、女子5チーム。男子はチーム総当たり戦の予選リーグの上位4チームが決勝トーナメントで、女子は総当たり戦の勝ち数でそれぞれ優勝を競い合いました。

体育の授業で練習した経験はありましたが、ボールが柔らかいソフトバレーだけに扱いが難しく、チームによっては苦勞していました。実際のゲームでは、団体競技であるバレーボールの基本通り、連携したボール運びができたチームが上位に残りました。特に、



ソフトバレーで熱戦を展開する男子チーム

男子の決勝トーナメントでは終盤に進むほどボール運びのうまさが目立ち、試合のペースを支配できたチームが最後まで勝ち残ることができました。

結果は、男子、女子ともに2年生のチームが優勝を飾り、本年度の球技大会は幕を閉じました。今回のようにチーム力が重要な競技を通して、目的に向かって協力することの大切さを学んでほしいと思います。

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

CHS 中央高等専修学校

桐生: 〒376-0011 群馬県桐生市相生町5-59-28 TEL.0277-53-8511(代) FAX.0277-53-8532

クラーク記念国際高等学校

桐生キャンパス <http://chs-clark.jp>

CHUO
中央カレッジグループ

前橋・桐生の合同体育祭

「前橋と桐生の仲間でスポーツで交流を」。平成30年度の前橋校・桐生校「合同体育祭」が10月19日、桐生市民体育館で行われました。昨年度までの合同体育祭は陸上競技場で開催されていたため、雨天などにより競技を割愛し予定時間を短縮して行われたこともありました。本年度は天候に左右されないで済む屋内体育祭として、体育館を会場に初めて開催されました。

初の屋内開催で成功



合同体育祭に集った前橋・桐生の生徒教職員

出場チームは、前橋校が2・1年の混合チーム「青組」、3年と1年の混合チーム「黄組」の2チーム、桐生校は全体で「赤組」1チームの全3チームで、対抗戦で優勝を競いました。

開会式では、青・黄・赤組の代表生徒が選手宣誓。その後、競技に移りました。

最初は、ビーチフラッグをもとに体育館用競技にアレンジした「フロアフラッグ」から始まり、「ムカデボール運び」「障害物競走」「大縄跳び」と競技が続きました。

午前中の競技終了時点で発表された各組の点数は拮抗、勝敗の行方は午後の競技の結果に持ち越されました。

午後の「綱引き」、全員参加の「台風の目」、保護者競技の「玉入れ」、全員参加の「8の字大縄跳び」、屋内という事で取り入れた「ドッジボ



最初の種目「フロアフラッグ」

ール、「保護者対抗借り物競走」などの競技を重ね、最後はバランスボールをバトン代わりにペアで運ぶ生徒全員参加の「全員リレー」で全競技を終えました。

結果は、各競技で勝ちが目立った青組が優勝、準優勝にはわずかの得点差ながら最後の全員リレーで1位となった黄組が輝きました。

今年の体育祭も、両校ともそれぞれの生徒たちが活躍できる場面が多く見られ、両校の交流もより一層深まりました。

仲
間
と
と
も
に

多彩な競技に挑戦



難しい「ムカデボール運び」



保護者の玉入れ競技



気持ちを合わせ「大縄跳び」に挑戦

桐生校で球技大会 3年生チームが勝利

今年10回目となる恒例の球技大会(ソフトバレーボール)が9月19日、桐生市民体育館で行われました。大会は、毎年7月に行われていましたが、今年は猛暑のため夏休み明けの9月の実施となりました。

大会では、学年ごとに4人から5人のグループに分け、全8チームによるリーグ戦方式で試合を進めました。予選から白熱した試合が展開され、応援席から「頑張れ!」「サーブ入れていこう!」など大声援が寄せられました。



球技大会に参加した生徒たち

決勝戦は、3年生チーム同士の戦いとなり、レベルの高い試合に見学している1・2年生は驚きながら、応援していました。決勝戦が終わると、両チームに大きな拍手が送られました。

3年生にとっては最後の球技大会で、楽しい思い出ができました。

地域の祭典「ふれあい広場」 生徒たちが綿菓子など出店

地域交流イベント「ふれあい広場“元気2018”」が8月19日、相生公民館で開かれ、本校から教職員と生徒代表が参加、綿菓子とポップコーンのお店を担当しました=写真。

今回で20回の節目を迎えるふれあい広場は、「演じる」「食べる」「遊ぶ」をテーマに、相生地区に暮らす人たちの「ふれあい」を大切にしながら実施されました。会場には、相生地区住民などたくさんの人たちがつめかけにぎわいました。



本校生徒たちは、猛暑の中、汗をかきながらも販売に一生懸命がんばりました。

生徒が進んで社会の一員として地域の交流行事に参加し、そこでの体験を通して、人とのかわり合いやコミュニケーション能力を高めることは、今後の社会生活を送るうえでの自信になると期待しています。

WEEKEND
コース

ビジターでも利用可能に

English Village MAEBASHI (前橋英語村、EVM) では、施設内の多彩なシチュエーションを生かした多くのプログラムを実施しています。人気の週末講座「WEEKENDコース」に、お試し気分に参加できるビジター利用も可能なクラスを設けました。

初心者も、外国に行った気分で遊びに行く感覚で、英会話を

この「WEEKEND」ビジター利用コースは、1レッスン40分2,000円の価格設定で、毎週土曜・日曜午前10時から午後4時まで対応します(当日予約可能)。講師はEVMの経験豊富な外国人インストラクターです。

レッスンは、「小学生」と「中学生から大人」で分けて行います。スケジュールはHPを参考にしてください。

基本的には体験型教育施設EVMのリアルなシチュエーション(空港やレ

ストラン、ファストフードなど)で楽しみながら英語を学ぶものです。

誰でも楽しめるプログラムが用意されており、「外国に行った気分で」「遊びに行く感覚で」英会話を楽しんでください。

希望者は、EVMのホームページより予約可能です。なお、「じゃらん」からの予約では割引もあります。

詳細はEVM(☎027-289-3125)まで。



週末を利用し英会話を楽しむ「WEEKENDコース」

プログラム利用団体とパートナーシップ協定

EVMでは7月から、EVMのプログラムをご利用した団体(英会話教室など)と、パートナーシップ協定を結んでいます。

パートナーシップ協定は、各団体に割引利用の便宜を図ることや、団体のより一層の英語活用促進に向け、体験活動を通じた教育的支援を行うことが目的です。

協定を結んだ各団体は事務所や教室に、盾に入った協定書を設置します。具体的には、パートナーシップ協定を結んだ団体はEVMのプログラムを8%引きで利用できます。

9月末段階で、学校団体・一般団体を含め、合計9団体と協定を結び、群馬県内の英会話教室をはじめ、栃木県



パートナーシップ協定を結んだ団体に贈呈される協定書盾

の保育園、埼玉県の英会話教室など県外の団体も加わりました。各団体からは、「安くなるから、年に数回利用したい」などの声も出ています。

Halloween EVENT



多彩な仮装でイベント楽しむ

EVMの「ハロウィンイベント」が10月14日、17日に行われました。

参加したのは、親子連れなど総勢48人。それぞれクオリティの高い仮装で来場、会場の雰囲気盛り上げてくれました。

イベント内容はオリジナルマスクを作るクラフトやキャンディゲーム、コスチュームパレードなどさまざままで、参加者もスタッフも大いに盛り上がり、楽しんだ様子でした。

今後予定されているイベントは11月10、17日のAUTUMN DAY CAMPと12月16日のクリスマスパーティーです。ぜひお越しください。



村長も登場



イベントも多彩に

STAFF 紹介

Patrick Lane (パトリック・レイン)

(EVM 講師、企画運営セクション所属)

豊かな自然が最高

こんにちは、パトリック・レインです。ニュー・カネイディアンズというプログラムを通して英語をボランティアで教えたのがきっかけで、カナダのヴィクトリア大学で英語教育を専攻。本格的に教え始めたのは韓国のプサンです。その後、各地を転々とし、たどりついたのが日本の群馬でした。

それから8年経ち、その間、日本を離れたこともあります。現在は渋川に住んでいます。空気もきれいで、伊香保や榛名にも近く、ハイキングや湖畔で時間が過ごせるのは



最高です。趣味は写真とフリスビーゴルフ。大好物はかつ丼とスパゲッティです。EVMとカレッジグループの一員になれてほんとうに幸せです。

EVMでは、幅広い年代のさまざまな要望に対応した英会話研修を実施しています。この夏から秋にかけて行われた大学生や中学生の研修を報告します。

学生や生徒が研修

異文化コミュニケーションを学ぶ

埼玉県深谷市にある東都医療大学の学生20人（引率：勝部憲一教授、神山吉輝教授）が9月2～5日の4日間、EVMで研修しました。大学の前期授業「異文化コミュニケーション」の集大成ともなったこの3泊4日研修は正規の履修時間としてカウントされました。

最初の3日間は、EVMのインストラクターの母国であるイギリス、イタリア、ルーマニアの文化を学ぶ日として位置づけられました。一日のスケジュールは「イントロダクション」「食文化」「日本との出会い」という3つの柱を中心に構成され、その合間に医

東都医療大学 3泊4日研修

療現場を含むさまざまな状況で役立つ英会話のレッスンが提供されました。



研修に参加した東都医療大学の学生とスタッフ



医療現場を想定した英会話レッスン



研修成果を発表する学生たち

イントロダクション

ここでは各講師が選りすぐりの写真をスクリーンに映しながら、それぞれの国の歴史と現状を紹介。対象が看護を学ぶ学生ということもあり、併せて各国の医療事情も伝えられました。

食文化

食文化については、まさにクッキングという実践的なスタイルをとって展開しました。1日目はバブル・スクウィーク（イギリス）、2日目はリゾット（イタリア）、3日目はミートボール（ルーマニア）をインストラクターと一緒に作りました。普段なかなか食べることのできない家庭料理に舌鼓を打ちました。「食」という切り口から文化を知ることが、EVMに滞在するからこそできる貴重な体験となりました。

日本との出会い

3人のインストラクターが、失敗談を含む面白いエピソードを交えながら、自分が日本文化といかに出会い、

試行錯誤を重ねながら、いかに日本社会に順応していったかを語りました。

学生発表

最終日は学生のプレゼンテーション。3つのグループに分かれ、それぞれの代表者が異なる切り口から、医療従事者が目指すべき「より良きヒューマン・ケア」について意見を述べました。

発表はいずれも3日間の研修成果をふまえた内容で、多文化共生時代に移行しつつある日本、その医療現場でどのような配慮が多様な文化を背負うクライアントに向けて必要かを提言する興味深いものでした。

参加学生からは「異文化にふれあい、良い経験ができた」「東京オリンピックの開催期間中、自分ができていることを探してみたい」などのメッセージが寄せられました。

前橋市内の中学生28人が オーストラリア事前研修

「海外研修前に英会話を」。前橋市内から選抜された、海外派遣事業「オーストラリア研修」（8月3～17日）に参加する中学生28人に向けた事前研修が、7月29日に行われました。

派遣される中学生は、オーストラリアのシドニーで2週間ホームステイをしながら語学研修します。

EVMでは、現地で体験しそうな場面（入国審査、ホストファミリーとの会話、ショッピング、ファストフードなど）での英会話をリアルなシチュエーションの中で体験しました。

今年で2回目となるEVMでの事前研修では、参加者全員が積極的に



ホストファミリーとの会話を想定したレッスン

英会話に取り組み、楽しんだ様子でレッスンを受けていました。

選抜された中学生の中にはEVMのWEEKENDコースメンバーの生徒も加わっていました。

帰国後、現地での研修の感想を聞いてみると「EVMでのレッスンが役にたち、緊張せずにホストファミリーと会話ができた」など、うれしい反応がありました。

Mayor's Message

During the *Obon* holidays, I took a trip to Portland, Oregon. The trip was much different from my previous ones to the USA. What I aimed for this time was finding a slow, high-quality lifestyle enjoyed by the locals, rather than seeing eye-catching landmarks in the city.

The first destination I headed for was Powell's, one of the biggest independent bookstores in the world. The moment I entered the bookstore, I was overwhelmed by the huge space for housing over a million titles. As the purpose of my visit was to locate English medieval literature and dog history books, I asked a clerk for the designated sections. Both sections were extremely well-stocked with the related titles, many of which I'd never seen in Japanese bookstores. I purchased two books, *A Dog's History of America* and *The Lost History of the Canine Race*.

Fully satisfied and a little tired, I took a breather at the in-store café, where I found

An Oregon Report – In Search of Quality and Originality

Makoto Shimotao

myself among dozens of book lovers who came to visit Powell's not only from the city but from across the US as well. They are the kind of people who love to leisurely spend good quality time reading books of their choice over a cup of locally produced, rich flavored coffee. I spent some peaceful time with them, flipping through some pages of the books I purchased in the bookstore.

My stay in Portland was rather short, but I was fortunate to meet a rich variety of people while I was there, such as rose breeders, leather craftsmen, brewers and organic farmers. They all were one of a kind people doing their jobs in pursuit of excellence and originality, who happily lived in Portland because they know there's a strong community of the locals who support their businesses. Inspired by such anti-mass production trends that favor locally sourced products, a large number of people have reportedly been moving to Portland in recent



years. They all share the common objective of regaining a deep appreciation of life that has been much obliterated by the hustle and bustle of many other cities. No wonder Portland tops the list of cities Americans would like to live in. I hope I can revisit the city with my family in the very near future.

.....
下田尾誠村長のコラム3回目。オレゴン州ポートランドの書店を訪ねた時のレポートです。

Super Kids English Studio 中央外語学院

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町17番地36 中央総研ビル1F TEL.027-256-7200 FAX.027-256-7201

www.chuo-gaigo.com

CHUO

中央カレッジグループ



ワールド・カフェに参加した講師たち

リラックスして意見交換 ワールド・カフェ始まる 各国の講師が集い自由に

「カフェにいるようなリラックスした雰囲気の中で自由に対話を」。本学院の講師が7月、2グループに分かれて「ワールド・カフェ」を開きました。

この試みは、参加講師6人の出身地が北米、南米、アジア、ロシアなど広域で、さまざまな考え方があることから、気軽に意見交換ができる場を創出するために行いました。

「ワールド・カフェ」では、それぞれの意見を否定することなく、考えを広げていきます。2グループに分けて実施し、グループメンバーも入れ替えました。異なる出身国の講師だけに多彩な内容が語られました。

今後も定期的に開催し、より良い授業を行うために役立てていきます。

NEWS!

受験意識し 教科対応英語に参入



受験を意識した教科対応英語講座も試験的に実施

小学校高学年から中1対象

本学院は幼稚園児、小学生に生きた英語を母国語のように吸収してもらうため、外国人講師を中心に事業展開し実績を上げています。

その一方で、いわゆる教科英語とは異なるため、中学校に進学して、そのギャップに悩む子どもがいたのも事実です。

これらに対応しようと、教科対応講座の開設を計画しました。

本学院に昨年、新たに小・中学校で英語教師の経験をもつベテラン日

本人講師が入社したことを受けて、試験的に8月20日と22日に中学1年生4人に参加してもらい受験用の対策講座を実施しました。

生徒の皆さんの反応は、「分かりやすい」「これからの勉強の仕方が分かった」と好評でした。

今後、小学校高学年から中学1年生を対象に、来年の夏休み・冬休み期間中の開催を予定しています。また、長期休暇以外での実施も視野に入れていきます。

資格の学校 TAC 群馬校

お申し込みお問い合わせは資格の学校TAC
〒371-0805 群馬県前橋市南町3-14-1 TEL 027-226-1823 FAX 027-243-5300

社労士、中小企業診断士など

2019年合格目標の講座を開講

TACの主要講座でもある税理士・社会保険労務士・中小企業診断士などの2019年度試験対策講座がスタートしました。

本校では、税理士講座を、全11科目・24コースの通学講座(個別DVD)で開講しています。社会保険労務士講座では、教室講座が9月23日から開講となり、多くの受講者の方が合格を目指して、臨場感あふれる教室授業の学習に取り組んでいます。

今後も行政書士や宅建などさまざまな講座が順次開講予定となっています。スタッフ一同、来年の試験合



社会保険労務士講座の授業

格に向け全力で受講生の皆様をサポートしていきます。

社会保険労務士ガイダンス開催

9月2、15日に社会保険労務士のガイダンス・セミナーを開催。社労士試験に合格するための秘訣や学習スケジュール

TAC群馬校取り扱い講座

【会計・経営・労務関係】

税理士・簿記検定・社会保険労務士
建設業経理士・中小企業診断士
FP・証券アナリスト

【法律・公務員関係】

行政書士・ビジネス実務法務検定
公務員(地方上級・国家一般職)
理系公務員(技術職)
警察官・消防官

【不動産関係】

不動産鑑定士・宅地建物取引士
マンション管理士・管理業務主任者

【情報処理・パソコン関係】

ITパスポート・基本情報技術者

資格・検定紹介

—「新規開講」編—

●電験三種

難易度：☆☆☆☆☆☆

試験日：毎年9月上旬の日曜日

電験三種(第三種電気主任技術者)は、受験申込者数が年間65,000人の大型資格です。国家資格で「独占業務」。年齢問わず、ニーズの高まりと安定収入が最大の魅力です。

この資格は、商業ビルなどのある程度の規模の電気設備の保安監督に関して法的に必要な国家資格です。電気設備を正確な方法で運用しないと、自身のビルが原因で周囲の地域を停電させてしまうこともあります。そのため、国家試験を合格した電気のプロである電気主任技術者が、電気設備を適切に運用するように法律で定められています。

※難易度(5段階)

(易)☆☆☆☆☆☆(難)

お得な講座キャンペーン情報

社会保険労務士 早割キャンペーン

対象：【初学者向け】総合本科生

期間：12月26日(水)まで

・通常受講料から最大30,000円割引